



草浅
72
二七

野

風西ニ變シ、大川西ノ町々大抵燒キ盡ス所トナレリ。

徳川氏開府以來、府下ノ六大火トモ稱ス可キハ、明曆ノ大火表中第一第二第三、寛文ノ大火第六第七第八第九、元祿十一年九月ノ大火第十五、享保十年ノ大火第四十二、安永ノ大火第五十六、並ニ文化三年ノ大火第六十九、明曆ト寛文トノ大火ハ、數多ノ大火五六日中ニ有リシナレモ、通常合シテ之ヲ明曆或ハ寛文ノ大火ト云フ。

第一 明曆三年正月十八日午後二時頃、本郷本妙寺ヨリ出火シ、湯島神田邊ヨリ淺草門ニ至リ、内神田ハ鎌倉岸ヨリ、南ハ八丁堀、東ハ深川ニ至ル。

長サ四十八町。 方向 北三十度西。

翌十九日午前十一時頃、小石川傳通院前ヨリ出火シ、小川町邊一圓府城ヲ燒キ、西丸ハ大名小路一圓、新橋邊ヨリ海濱ニテ止ル。

長サ五十三町。 方向 北二十度西。

同日午後、麴町五丁目裏民家ヨリ出火シ、櫻田愛宕下邊ヨリ芝札ノ辻田町目邊、三丁海岸ニテ止ル。

長サ四十丁。 方向 北十度西。

右ノ三大火災ニ因リ、東京全府ヲ燒亡スト云フモ過言ニアラサルニ似タリ。當時ノ記録ヲ按スルニ、前年十一月ヨリ八十餘日ノ間一滴ノ降雨ナク、日々西北風強ク、砂塵ヲ颺ケ、家屋甚シク乾ケル折、此大火起レリ。今記ニ據リ風ノ速度ヲ概算スルニ、火勢ノ盛ナル間、即チ十八日午後ヨリ十九日夜マテハ、一時六十英里位ノ平均ナリシヤニ想像セラル。此速度ヲ以テ乾燥セル家屋ヲ燒ク、固ヨリ家ノ盡クルニ至ラサレバ、熄マサルハ觀易キノ事ナリ。此火災ニヨリ死亡セシ人員ハ十萬七千四十六人ト記ニ存スレモ、此ハ未タ信スルニ足ラズ。然レモ其數ノ夥カリシハ以テ知ル可シ。當時其屍ハ皆水火ノ爲メニ糜爛シテ其誰タルヲ辨スルコト能ハズ、或ハ親族ノ葬ルモノナキヲ以テ、數日道路ニ累積ス。是ニ於テ政府令シテ本所ノ地ニ一大坑ヲ穿テ、盡ク聚メテ之ヲ合葬シ、一寺ヲ建ツ。今ノ回向院是ナリ。右三火災ヲ明曆ノ大火ト稱シ、長サ合シテ百四十一町ナリ。

第二 寛文八年二月朔日牛込酒井邸ヨリ出火シ、市谷田町ニ至リ、又同日市谷ヨリ出火シ、新橋海岸ニ至ル。

長サ四十六町。 方向 北三十度西。

同日御茶ノ水邊ヨリ失火シ、日本橋迄燒亡ス。

長サ二十一町。 方向 北三十度西。

右二大火後三日、即チ二月四日、鮫ヶ橋ヨリ失火シ、其邊一圓、其ヨリ赤坂三田高繩迄燒亡ス。

長サ四十三町。 方向 北十度西。

同月六日、小日向築地ヨリ失火シ、田安門内迄燒亡ス。

長サ二十一町。 方向 北三十度西。

右四大火、長サ百三十一町、大小名ノ邸宅町家燒亡甚々多シ。蓋シ明曆後ノ大火ナリ。

第三 元祿十一年九月六日、南鍋町ヨリ失火シ、大名小路通町筋、神田下谷上野、淺草山谷千住掃部宿ニ至ル。

長サ八十三町。 方向 南二十度西。

第四 享保十年二月十四日、青山久保町北町三丁ヨリ失火シ、赤坂四谷牛込、大塚音羽小石川、巢鴨駒込、谷中下谷、金杉迄燒亡ス。

長サ八十町。 方向 南五十度西。

此火事ハ、人家ノ數ヨリ云ヘハ甚タ大ナル火災ニハアラサレモ、常ニ火事少キ山ノ手ニシテ、其長サ八十町程ニ達シタルモノナレハ、亦大火中ニ算スヘシトス。

第五 安永ノ大火、上ニ詳カナリ。

長サ百三十三町。 方向 南三十度西。

第六 文化三年三月四日正午頃、芝車町ヨリ失火シ、淺草東本願寺邊迄燒亡ス。大名ノ邸宅六百餘ヶ所、燒死人千二百餘人ナリト云フ。

長サ八十一町。 方向 南三十度西。

右六大火ノ外、文政十二年三月二十一日神田佐久間町ヨリ發セシ火災ノ如キハ、長サコソ甚タ大ナラサレ、府中最モ繁華ノ地ヲ盡ク燒キタレハ、亦以テ六大火ニ劣ラサルモノト爲スヘシ。

右六大火ノ方向ヲ察スルニ、其三ハ西北ニシテ、他ノ三ハ西南ナリ。則チ本地ニ於ル烈風二十英里以上ノ速度ヲ有スル風。ノ右二方ヨリ來ルモノ最多キヲ見ルヘシ。

明曆三年ヨリ現今ニ至ルマテ二百二十餘年間ニ於テ、長サ十五町ニ至ルノ火災凡テ九十三回、今第二表ニ就テ、其火災ノ最多キハ如何ナル月ニ在

テ如何ナル方向ヨリ來レリカヲ亮知スヘシ、第三表モ亦然リ。但シ此ハ火災ノ數ニ由ラスシテ、各月中各方面ニ於ル火災ノ長サノ物高ヲ見ハセリ。今此二表ヲ按スルニ、七八ノ兩月ハ一ノ火災ナク、九月ヨリ其數漸ク増シ、三月ニ於テ極ニ達シ、其レヨリ又漸ク減少シ、七月ニ至リ全ク熄ム。甲圖ハ○略第二表ヨリ製出スルモノニシテ、上部ノ曲線ハ一月ヨリ十二月ニ至ル各月大火災ノ全數ヲ示シ、圖ノ左側ニ附スル數字ハ其回数ナリ。又下部ノ曲線ハ明治二十三年間各月吹ク所ノ風ノ平均量ニシテ、圖ノ右側ニ示スハ其里數ナリ。而シテ風量ハ唯二十三年ノミノ平均ナレハ、果シテ其真ナルヲ保シ難ケレトモ、其大體ハ敢テ失ハサルヘシト信スルナリ。今甲圖ノ上下二部ヲ比較スルニ、其甚タ相類似スルヲ見ル、風ト火災ト親密ノ關係ヲナスハ勿論ナレモ、右ノ圖ニ因リテ益、明白ナリトス。即チ三月ハ東京ニ於テ最モ風アル月ナレハ、火災モ亦最モ多ク、其前後ハ共ニ風少ケレハ、火災モ亦隨テ少シ。特リ二曲線中七月ニ於テ其差ヲナスハ、蓋シ七月ハ六月八月ニ比スレハ風アル月ナレモ、時候炎熱ナルカ故ニ人家火ヲ用フルコト少ナク、且ツ空氣ノ温度高ク物(家屋等)皆濕氣ヲ含ム多キニ由レリ。

是レ其風アルニ拘ハラズ古來大火災ノ一回モ見ルナキ所以ナリ。乙圖○略ハ其製甲圖ニ類ス。但シ下部ノ曲線ハ專ラ烈風ノ全數ニ由リテ其全量ニ由ラス、今上下ノ曲線ヲ比較スルニ亦甚タ相類似スルヲ見ル。但シ八月ニ於テ少ク差アルハ猶第一圖ノ七月ニ於ルモノト其理ヲ相同ウスルナラン。乙圖中七月ニ於テ一回ノ大風ナキハ、甲圖ノ七月ニ火災ナキノ明徵トナフ可シ。又戊圖○略ノ横線ハ各月中火災ノ大サヲ比較セルモノニシテ、且ツ各月中線ノ位置ハ火災ノアリシ日ニ因リテ定メタルナリ。此圖ヲ見テモ三月ニ火災ノ最多ナルヲ明白ナリトス。丙丁ノ二圖○略亦其製甲乙ニ類ス。但月ニ因リ圖セシテ方向ニヨリテ圖セルノミ。今此兩圖ヲ見ルニ、大火ハ概ネ北ト西北ト西南トヨリ起リ、就中北ト西北トニ於テ最モ多ク、下部ノ風ヲ圖セルモノモ亦大抵相同シ。唯西南ノ點ニ於テ二線著ルキ差違ヲ呈ス。又丁圖ニ於ル上部ノ曲線ハ、丙圖ノ上部ニ相同シ。而シテ下部ハ二十三年中ニ各方向ヨリ吹キ來ル所ノ烈風ノ平均數ヲ取レリ。丙丁共ニ上部ハ左ニ回數ヲ記シ、丙圖下部ハ右ニ風ノ里數ヲ附シ、丁圖ニ於テハ左ニ烈風ノ回數ヲ記スル事乙圖ニ於ルカ如シ。實ニ右四圖ヲ

精密ニ按スレハ、風ト火災トノ差ハ夏期ノ諸月ニ於テ著シトス。其理由ハ既ニ上ニ詳カナリ。
今表ト圖トニ據リ得ル所ノ結果、左ノ如シ。
第一、火災ノ時候ハ十一月ニ始リ三月ニ其極ニ達シ、五月ニ終ル。
第二、大火災ハ必ス南、西南、北、西北ノ四方ナリ。
第三、前二件ハ單ニ偶然ニ出ツルニアラス、東京地方ノ氣象ニ關シテ生スルナリ。(○下略)

第一表

番號	紀元年新曆	月	日	年號舊曆	日	日	方	向	町	數
一	二三一七年	三月	二日	明曆三年	正月	十八日	北	西		四八
二	同	同	三日	同	同	十九日	北			五三
三	二三〇年	二月	廿四日	同	同	同	北			四〇
四	二三二一年	二月	廿六日	萬治三年	正月	十四日	北			一六
五	二三二一年	二月	廿六日	寬文元年	正月	廿七日	北			三三
六	二三二八年	三月	十三日	同	二月	朔日	北	西		四六
七	同	同	同	同	同	同	北			二一
八	同	同	同	同	同	同	北			四三
九	同	同	同	同	同	同	北	西		二一
十	二三三六年	十二月	十一日	延寶四年	十一月	七日	同	西		一七

帝都時代ノ火災

帝都時代ノ火災

六	五	五	五	五	五	五	五	五	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	卅	卅	卅	卅
十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十
十九	八	七	六	五	四	三	二	一	十九	八	七	六	五	四	三	二	一	十九	八	七	六	五	四
二	二	二	同	二	同	二	同	二	二	二	二	同	二	二	二	二	同	二	同	二	同	同	同
四	四	四	四	四	四	四	四	四	〇	〇	九	九	九	八	八	八	八	八	八	三	三	三	三
五	四	八	二	一	〇	六	六	五	七	二	一	八	五	四	三	二	一	九	八	七	六	五	四
年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年
二	一	三	同	四	十	三	同	三	同	十	四	三	六	同	四	五	一	三	五	四	十	同	同
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
五	十	十	同	一	八	廿	廿	同	十	四	九	四	二	一	廿	廿	廿	廿	廿	廿	一	廿	廿
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
同	天	同	同	安	同	明	同	同	同	寶	同	延	元	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
四	明	三	七	元	同	八	同	十	同	六	三	二	二	同	十	十	十	同	九	同	八	同	七
年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年
同	十	同	同	二	九	正	同	二	同	十	同	二	五	同	三	四	十	二	閏	三	十	同	二
廿	月	廿	同	廿	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
六	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
北	同	北	同	南	南	北	北	同	同	北	南	北	南	北	北	北	北	同	南	同	北	北	南
		西	西			西				西	西		西	西		西					西	西	西
同	同	二	二	二	四	二	同	四	四	二	七	六	三	二	三	六	四	一	八	一	五	一	三
〇	五	五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

一一三一

卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅
五	四	三	二	一	十九	八	七	六	五	四	三	二	一	十九	八	七	六	五	四	三	二	一	十
二	同	同	二	二	同	二	二	同	二	二	同	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
八	八	八	一	〇	八	七	七	七	七	七	六	二	一	七	六	六	六	六	六	六	五	五	四
二	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年
一	三	同	二	五	五	一	三	二	同	一	二	二	同	二	一	三	四	五	一	十	十	三	一
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
廿	一	廿	四	四	卅	廿	四	四	廿	十	廿	六	十	廿	六	九	三	十	九	卅	九	卅	二
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年
十	同	二	正	三	五	十	同	正	同	十	正	同	十	正	十	二	四	十	二	閏	三	十	同
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
廿	四	三	八	廿	朔	廿	廿	一	晦	一	一	四	十	四	九	五	四	九	一	月	日	日	日
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
北	南	南	北	南	北	同	同	同	北	同	北	北	西	同	北	北	北	南	北	南	同	北	北
	西	西	西			西	西		西	西南	西	西	西		西						西	西	西
三	四	三	一	五	一	五	五	三	一	二	一	二	二	一	四	七	四	一	二	八	三	四	同
〇	五	八	五	三	五	四	六	九	五	七	五	五	九	五	〇	五	〇	五	三	六	三	三	五

東京市史稿

一一三〇

明治十五年二月十五日午前第三時頃淺草北田原町三丁目八番地土族古谷桑太郎方より出火。○下文記スル所ニ據レハ、三淺草田原町貳丁目。○十二番地三丁目。○一番地迄。等ハ延焼、同四時廿分鎮火ス。○下

六、三月八日火災 十五區 六郡 火災調上申ニ據レハ、此時災スル所、神田區松下町一番地ヨリ十七番地ニ至リ、鎌倉町七番地ヨリ十三番地ニ至ル。

三月八日
火災

月日	鎮火時間	發火地名	火起原由	燒失家屋區分	合戸數	合坪數	死傷
八日 ○明治十五年三月	午前三時 五分	神田區松下町十四番地ニ建設アル同町四番地石川嘉助所有納屋ヨリ	放火ト 疑フ者	板葺平家全燒 瓦葺二階家類燒 同二階家 瓦二階土藏	一戸 五十三戸 廿七、半二戸 一戸	八十四戸 九百四 十坪	

消防本署火災報告

附記
明治十五年三月
三日火災
三月廿四日火災

〔附記〕 消防本署火災報告傳ヘテ、明治十五年三月十三日、武藏國南足立郡千住中組出火、七十戸、七百十四坪壹合七勺ヲ燒クト云フ。
七、三月廿四日火災 消防本署火災報告ニ、

月日	鎮火時間	發火地名	火起原由	燒失家屋區分	合戸數	合坪數	死傷
廿四日 ○明治十五年三月	零時卅分 翌日午前二時	日本橋區川瀨石町十五番地平民畑野徳太郎	放火ト 疑フ者	板葺二階家全燒 同物置 瓦葺二階家類燒 同二階家 同物置	一戸 一戸 九二戸 八十三戸 八十一戸	百八戸 九百八十 八坪八合 六勺	

十五區 六郡 火災調上申ニハ、此災川瀨石町十三番地ヨリ十五番地マテ、全燒住居家廿戸、十七棟、物置二棟、半燒五戸、五棟。新右衛門町十八九番地、全燒住居家十九戸、廿棟、半燒三戸、三棟。本材木町二丁目一番地ヨリ七番地マテ、全燒住居家四十五戸、五十四棟、半燒十三戸、十五棟ナルコト見ユ。
八、五月八日火災 消防本署火災報告ヲ按スルニ、

五月八日
火災

月日	鎮火時間	發火地名	火起原由	燒失家屋區分	合戸數	合坪數	死傷
八日 ○明治十五年五月	午前一時 七分	神田區美土代町四丁目二番地平民永田善兵衛	油 紙	板葺平家全燒 瓦葺二階家類燒 同二階家 同二階家	一戸 四十九戸 四十九、半二戸 二百七十一、半二戸	四百四 三千百三 十四坪〇 七勺	

九、八月廿五日火災 消防本署火災報告 十五區 六郡 火災調上申等云フ、

八月廿五日
日火災

帝都時代ノ火災

月・日	發火時間	發火地名	火起原因	燒失家屋區分	合戶數	合坪數	死傷
廿四日 ○明治十五年八月	午前二時 午後三時	牛込區市ヶ谷本村 町四十一番地陸軍 士官學校食堂ヨリ	不詳	煉瓦平家 同二階家 金屬平家 瓦平家	一、一 一、一 一、一 一、一	五百 七百六十	—

消防本署火災報告

去ル八月廿五日、○消防本署火災報告。當區市谷本村町四十壹番地陸軍士官學校構内建家火災、別紙之通有之候。且先月中本區ニ於テ、他ニ火災等無之候間、此段及御通知候也。

明治十五年九月廿六日

牛込區長 渡邊 清印

庶務課長 渡邊 孝殿

陸軍士官學校内建物燒失取調書

火元	名	稱	坪	數	種	目
全	燒	食堂壹棟	三百廿九坪五合五勺但二階上二百卅八坪二合五勺	—	煉化石造二階家	—
全	燒	渡廊下一ヶ所	六坪二合九勺	—	木造瓦葺	—
半	燒	炊事場壹棟	百五十三坪五合八勺	—	煉化石造平家	—
同	燒	渡り廊下二ヶ所	三拾二坪四合	—	木造金屬葺	—

出火時間 明治十五年八月二十五日午前三時。
出火原 食堂ニシテ常ニ火氣無レ之場所ヨリ火ヲ發シタル者ニシテ、其原因分明ナラズ。

但、此火災ニ付、人畜ノ死傷等無レ之。

十五區 火災調上申

同○明治十五年八月廿四日、未晴。

一、夜入明ヶ方、師範ノ誤。學校内出火。佐野弘毅日誌

十、十二月廿二日火災 消防本署火災報告云フ、

月日	發火時間	發火地名	火起原由	燒失家屋區分	合戶數	合坪數	死傷
廿二日 ○明治十五年十月	午前十一時 午後一時	神田區宮本町廿三番地東京師範學校	暖爐	全燒 瓦平家 同二階家	一戶 二戶	四百六十 五坪七合五勺	—

十六年○明治○紀元 三月四日、京橋區木挽町四丁目。火有り。○市

消防本署火災報告。十二月廿一日。元○明治十六年○紀元。本所區花町。火有り。○消防本署

明治十六年火災 是年市内ノ火災總數百七十九箇所、六百卅六戶、五千二百五

十五坪六合五勺、内重ナル者兩度ヲ左ニ舉グ。

一、三月四日火災 消防本署火災報告ニ、

帝都時代ノ火災

十二月廿二日火災

明治十六年三月四日火災
明治十六年十二月廿一日火災
明治十六年火災事蹟

三月四日火災

四月十一日火災
八月廿八日火災
十二月二日火災

明治十七年火災事蹟
一月十七日火災

○明治十七年(紀元二五四四年)三月。日本橋區本銀町一丁目^{○市}火有り。○消防本署
 十一月^{○市}。芝區赤羽根町^{○市}。兵器局燒ク。○消防本署。八月
 廿八日^{○市}。日本橋區蠣殼町一丁目^{○市}。失火、燒失戸數二
 百卅九戸、坪數二千四百六十六坪餘也。○消防本署。十二月二日^{○市}
 芝區中門前町二丁目^{○市}。燒ク。戸數百八十四戸、坪數千
 四百四十坪餘、消防手十八人ノ負傷有り。○消防本署火
 災報告。官報。火
 明治十七年火災。是年ニ燒ケル市内火災總計三百十九箇所、千九百九十六戸、
 二萬七十八坪七合七勺ノ内、十回ヲ重ナル者トス。
 一、一月十七日火災。消防本署火災報告ニ見ユ。

月日	鎮火時間	發火地名	火起原由	燒失家屋區分	合戸數	合坪數	死傷
十七日 ○明治十七年一月	午後二時 卅分 鎮火 同三時四十分	京橋區木挽町壹丁目 一番地平民熱田直次郎	吸煙	板二階家全燒 同平物置 瓦二土藏 金屬平家類燒 瓦平家類 同二階家 板平家 同二階家 同二階家	一一一 一一一 一一一 一一一 一一一 一一一 一一一 一一一	千五百 二坪九 合一勺	傷 消火夫 三人

一月十八日火災

二、一月十八日火災。消防本署火災報告ニ見ユ。

月日	鎮火時間	發火地名	火起原由	燒失家屋區分	合戸數	合坪數	死傷
十八日 ○明治十七年一月	午前三時 卅分 鎮火 同五時	芝區三田二丁目十 九番地平民大久保アイ	放火ト 疑フ者	瓦二階家全燒 同平家類 瓦平家類 同二階家 板平家 同二階家 同二階家	一一一 一一一 一一一 一一一 一一一 一一一 一一一	二千二百 六十六坪 四合三勺	傷 一人

附記 官報ニ、

一昨日(○明治十七年二月廿八日)午後十時、近衛歩兵第一聯隊兵營内浴室ヨリ出火
シ、同十一時鎮火シタリ。

三、三月四日火災。ハ、

附記
明治十七年二月火災
三月四日火災

月日	鎮火時間	發火地名	火起原由	燒失家屋區分	合戸數	合坪數	死傷
四日 ○明治十七年三月	午後八時 卅分 鎮火 同四十分	日本橋區通二丁目 九番地平民高梨豐次郎所有空家ヨリ	放火	板平家全燒 瓦平家類 同二階家 金屬平家類 同二階家 同二階家 同二階家	一一一 一一一 一一一 一一一 一一一 一一一 一一一	二千八百 八十七坪 三合八勺	死 消火夫 一人 傷 同十一人

消防本署火災報告

帝都時代ノ火災

一昨四日○明治十七年三月十日午後八時東京府日本橋區通貳丁目九番地高梨豐太郎所有ノ明家ヨリ出火シ河瀬石町佐内町新右衛門町へ延燒シ全燒貳百九拾八戸半燒貳拾四戸○次日ノ官報ニ「全燒三百四拾八戸半燒貳拾貳」アリ。同十一時四十分鎮火。

官報○東京府日誌同。

四、三月五日火災

月日	鎮發火時間	發火地名	火起原由	燒失家屋區分	合戶數	合坪數	死傷
五月 ○明治十七年三月	午前五時 廿分 同六時三十分	神田區南神保町三番地平民黒澤晋次郎	放火	瓦二階家全燒 金屬平家類燒 瓦二階家類燒 同二階家類燒 同二階家類燒 同二階家類燒 同二階家類燒	一戶 五戶 四十五戶 七十五戶 七十五戶	百十七戶	千四百九十六坪一合 死一人 消火夫一人 傷八人

消防本署火災報告

昨五日○明治十七年三月十日午前五時十分同府東京府神田區南神保町貳番地ヨリ出火シ全燒百貳拾五戸半燒貳拾九戸○次日ノ官報ニ「全燒百貳拾七戸半燒十一戸」アリテ同六時五十分鎮火シタリ。

官報

此災消防本署火災報告之ヲ四日ノ事トシ官報之ヲ五日ノ事トス。東京府日誌

亦五日ト有レバ今之ニ從フ。

五、三月十一日火災 消防本署火災報告ニ據ル。

月日	鎮發火時間	發火地名	火起原由	燒失家屋區分	合戶數	合坪數	死傷
十一月 ○明治十七年三月	午前四時 同六時	芝區日蔭町一丁目一番平民肥田久藏	放火ト疑フ者	瓦二階家全燒 浴二階家類燒 瓦二階家類燒 同二階家類燒 同二階家類燒 同二階家類燒 同二階家類燒	一一戶 一戶 四半三三戶 三半三三戶 三半三三戶 三半三三戶 三半三三戶	百〇五戶	六百四十坪七合 傷五人 消火夫一人

六、三月十五日火災 消防本署火災報告ニ據ル。

月日	鎮發火時間	發火地名	火起原由	燒失家屋區分	合時數	合坪數	死傷
十五日 ○明治十七年三月	午前三時 廿分 同四時四十分	下谷區上野東黒門町三十三番地平民石原作次郎	放火	紙瓦平家類全燒 紙瓦平家類燒 同二階家類燒 同二階家類燒 同二階家類燒 同二階家類燒 同二階家類燒	一戶 三十戶 九半三三戶 九半三三戶	六十四戶	千三百六十五坪七合 傷三人 消火夫一人

官報ハ全燒百七十戸半燒二十一戸ニ作ル。

七、三月卅日火災 消防本署火災報告○東京府日誌異事ナシニ據ル。

帝都時代ノ火災

十二月二日火災

五勺ヲ燒キ、消防手三人負傷スルコト、消防本署火災報告ニ記ス。
十二月二日火災 左ノ如シ。

月日	發火時間	發火地名	火起原由	燒失家屋區分	合戶數	合坪數	死傷
二月十日	午後六時五十分	芝區中門前町二丁目六番地明家ヨリ	放火	全燒 金屬二階家 一戶 瓦平家 八十五戶 同二階家 八十八戶 板平家 四十七戶 同二階家 四十六戶 板平物置 十六戶	八百四十	千四百四	傷 消防手十八人

消防本署火災報告

一昨二日 〇明治十七年十二月。午後六時十五分、東京府下芝區中門前三丁目八番地中村文吉所有同貳町目六番地明家ヨリ發火シ、中門前貳町目ニテ全燒六拾九戶、半燒壹戶、濱松町三町目ニテ全燒九拾貳戶、半燒五戶、外ニ物置拾戶燒失シ、同八時鎮火セリ。

官報

〔附記〕

消防本署火災報告ニ據レハ、明治十七年十二月四日、北豐島郡板橋宿ニ於テ、二百廿三戶、三千八百五十八坪三合五勺ノ燒失有リ。官報ニハ、昨廿二日 〇明治十七年十二月。午後三時四十分、太政官文書局所轄文庫掛詰所ヨリ出火、該所燒失シ、同四時鎮火シタリ。

明治十七年十二月四日火災 附記

明治十八年一月廿三日火災

十八年 〇明治十五年。一月廿三日、淺草西鳥越町 〇市。劇場猿若座燒ク。〇消防本署火災報告。官報。廿一日 〇明治十八年。一月。神田區三河町 〇市。百五十二戶、千二百卅六坪燒失ス。〇消防本署火災報告。官報。二月十三日 〇明治十八年。紀元。本郷區湯島四丁目 〇市。出火、百九十七戶、二千四百四坪餘燒ク。〇消防本署火災報告。官報。廿三日 〇明治十八年。紀元。日本橋區萬町 〇市。失火、附近ノ數町延燒ス。〇官報。消防本署火災報告。三月九日 〇明治十八年。紀元。芝區濱松町一丁目 〇市。火ヲ失ス。燒失家屋八十六戶、千二百四十一坪餘。〇消防本署火災報告。官報。十三日

明治十八年二月廿三日火災

〇明治十八年。紀元。日本橋區坂本町 〇市。火有リ、同町及南茅場町、北島町一丁目、二丁目、龜島町 〇市。內日。等類燒ス。〇消防本署火災報告。東京府日誌。四月卅日 〇明治十八年。紀元。本郷區本郷一丁目 〇市。火有リ。〇消防本署火災報告。八月十五日 〇明治十八年。紀元。神田區連雀町 〇市。失火、二百十三戶、千四百一坪餘燒失ス。〇消防本署火災報告。官報。

明治十八年四月卅日火災

明治十八年火災 總計三百四箇所、二千四百六十八戶、二萬八千二百三坪一合四勺ノ内重ナル火災八回有リ。

明治十八年火災 總計三百四箇所、二千四百六十八戶、二萬八千二百三坪一合四勺ノ内重ナル火災八回有リ。

帝都時代ノ火災

明治十八年火災事蹟

二月廿三日火災

昨十三日○明治十八年二月十日。午前三時三拾五分、本郷區湯島四丁目三番地田中エツ方ヨリ出火、湯島一丁目四丁目及妻戀町、神田區宮本町ニ延キ、午前六時鎮火ス。全燒貳百〇四戸、半燒拾七戸、消防手負傷拾七人アリ。

四、二月廿三日火災 左ノ如シ。

官報

月日	發火時間	風勢	元地名姓名	火起原由	燒失家屋區分	合戸數	合坪數	死傷
廿三日 (○明治十八年二月)	發火 午前三時十分		日本橋區萬町七番地平民中村直次郎	瓦斯管	金屬平家全燒 一戶 板平家類燒 五、半三戶 土藏造平家類燒 五、半三戶 同平家類燒 四十二、半二戶 同屬十家類燒 十五、半四戶 瓦平家類燒 廿五、半三戶 同二階家類燒 百四、半二戶 板平家類燒 四十四、半二戶 同二階家類燒 四十四、半二戶	三百十戶	二千六百七十二坪	死男一人 傷七人 消防手七人

消防本署火災報告

昨廿三日○明治十八年二月十日。午前三時三十分、東京府下日本橋區萬町七番地紙商中村直次郎原方瓦斯管ヨリ發火シ、同町ニ於テ全燒四十一戶、土藏三棟、物置壹棟、半燒三戸、延イテ同區通壹丁目ニ到リ、全燒三拾八戸、同青物町ニ於テ全燒貳拾九戸、物置壹棟、半燒五戸、同平松町ニ於テ全燒四拾貳戸、物置壹棟、半燒壹戸、

同土藏壹棟、同佐内町ニ於テ全燒三拾四戸、半燒壹戸、同元四日市町ニ於テ全燒廿二戸、半燒貳戸、同土藏壹棟、電信線柱全燒壹本、半燒壹本、燒死セシモノ壹人アリ、午前五時頃鎮火セリ。

官報

〔附記〕 消防本署火災報告ニ據レハ、明治十八年三月八日南豐島郡新宿三

丁日出火、六十六戸、九百八十六坪二合五勺燒ク。

五、三月九日火災 傳フル所ニ云フ、

附記 明治十八年三月九日火災

月日	發火時間	風勢	元地名姓名	火起原由	燒失家屋區分	合戸數	合坪數	死傷
九日 (○明治十八年三月)	發火 午前零時	西北 風強	芝區濱松町一丁目十番地平民佐々木惣助	ランプ	板平家類全燒 一戶 瓦平家類燒 十二戶 同二階家類燒 十一戶 同三階家類燒 廿八、半二戶 同二階家類燒 廿三、半四戶 同平物置類燒 廿八、半四戶	八十六戶	千二百四十壹坪六合	傷三人 消防手三人

消防本署火災報告

昨九日○明治十八年三月十日。零時、芝區濱松町一丁目拾番地佐々木惣助方ヨリ出火シ、同町及神明町七軒町、宮元町ニ於テ全燒八十二戸、半燒二戸、巡查派出所一ヶ所燒失、午前二時鎮火ス。消防手三人負傷セリ。但原因過失ナリ。

帝都時代ノ火災

權太郎方ヨリ失火、同町全燒七拾貳戸、半燒五戸、土藏壹棟、物置壹箇所、佐柄木町全燒貳拾九戸、半燒拾三戸、總計全燒百壹戸、半燒拾八戸、同六時鎮火セリ。

官報

〔附記〕 官報ニ、

昨七日○明治十九年一月午前零時三十分、東京府荏原郡南品川宿二百六十八番地、貸座敷渡世片柳謙造方ヨリ出火、全燒二百九十四戸、半燒六戸、巡查派出所一箇所、郵便局一箇所、電信柱三本燒失、同二時鎮火、原因過失ナリ。

十九年○明治○紀元 一月十日、淺草區新平右衛門町○市 火有り。○消防本署火災報告。官報。 廿七日 ○明治十九年(紀元) 神田區表神保町○市 燒ク。○消防本署火災報告。官報。 二月四日 ○明治十九年(紀元) 日本橋區吳服町○市 燒ク。○消防本署火災報告。官報。 三月三日 ○明治十九年(紀元) 神田區松永町○市 火有り。○消防本署火災報告。官報。 廿四日 ○明治十九年(紀元) 下谷區谷中三崎町○市 火有り。○消防本署火災報告。官報。 尋テ淺草區龜岡町二丁目○市 失火、二百四戸、二千九百八坪餘ヲ燒キ、四谷區鹽町三丁目○市 失火、百廿八戸、千二百七十二坪餘ヲ燒ク。○消防本署火災報告。官報。 四月四日 ○明治十九年(紀元) 深川區相川町○市 火有り、三百卅二戸、三千四百廿八坪餘燒失ス。○消防本署火災報告。官報。 九日 ○明治十九年(紀元) 深川區富吉町○市 出火、三百二戸、千七百八十五坪餘燒ク。○消防本署火災報告。官報。 七月六日 ○明治十九年(紀元) 神田區元佐久間町○市 火有り、燒失百八十五戸、二千五百六坪餘也。○消防本署火災報告。官報。 十三日 ○明治十九年(紀元) 淺草區公園地○市内 火ヲ失シ、八十戸、千九百九十二坪餘ヲ燒ク。○消防本署火災報告。官報。 八月一日 ○明治十九年(紀元) 日輪寺○市内 燒ク。○官報。 十六日 ○明治十九年(紀元) 下谷區五條町○市 火有り。○消防本署火災報告。官報。 一月廿一日 ○明治十九年(紀元) 麴町區三番町○市 火有り。○消防本署火災報告。官報。 十二月二日 ○明治十九年(紀元) 赤坂區表町一丁目○市 百九十二戸、千七百廿二坪餘燒失ス。○消防本署火災報告。官報。

明治十九年火災事蹟 總計四百九十三箇所、二千四百八十一戸、二萬七千四百九十一坪七合五勺ノ内、重ナル者十七回有り。

一、一月十日火災 消防本署火災報告事ナシ。 二、

帝都時代ノ火災

明治十九年一月七日火災

明治十九年一月十日火災

明治十九年一月廿七日火災

明治十九年二月四日火災

明治十九年二月十六日火災

明治十九年三月三日火災

明治十九年三月廿四日火災

明治十九年四月四日火災

明治十九年四月九日火災

明治十九年七月六日火災

明治十九年七月十三日火災

明治十九年八月一日火災

明治十九年八月十六日火災

明治十九年十一月一日火災

明治十九年十二月二日火災

明治十九年火災事蹟

明治十九年一月十日火災

消防本署火災報告

十二月十九日 晴 寒暖計正午四十八度。
 十九日午前一時過、日本橋區蠣殻町二丁目十五番地劇場中島座ト同番地永井仲次郎方トノ庇合ヨリ出火、蠣殻町二丁目全燒六百六十二戸、半燒八戸、同三丁目全燒二百三十一戸、半燒四戸、松島町全燒七百五十九戸、半燒二十六戸、劇場一箇所燒失。同六時五分鎮火ス。原因放火ナリ。——東京府日誌○官報同。

〔附記〕 官報ニ、

同○明治廿一年一月三十一日午前八時、下谷區西黒門町五番地加藤源九郎方ヨリ出火、全燒三十九戸、半燒十九戸、外ニ納家三箇所燒失。同九時十分鎮火。○消防本署火災報告ニハ、燒失六十九戸三百坪三合ト見ユ。

廿一年○明治廿一年二月一日、淺草區聖天町○市 失火、二百十三戸、

千四百九十坪餘燒失。○消防本署火災報告。○東京府日誌。○明治廿一年二月一日、日本

橋區本材木町一丁目○市 東京郵便局燒夕。○官報。○三月十五日○明治廿一年

（紀元二五）深川區富岡門前東仲町○市 火有リ。○消防本署火災報告。○五月廿二日

○明治廿一年（紀元二五）神田區錦町○市 火ヲ失シ、八百八十六戸、五千七百十四

坪餘ヲ燒失ス。○消防本署火災報告。○六月十九日○明治廿一年（紀元二五）赤坂區青山北

町三丁目○市 火有リ。○消防本署火災報告。○十一月十三日○明治廿一年（紀元二五）東京

府會議事堂燒夕。○東京府日誌。○江戶の花。○廿六日○明治廿一年（紀元二五）芝區櫻

田久保町○市 火有リ。○消防本署火災報告。

明治廿一年火災 火災總計四百六十六箇所、千七百十六戸、一萬四千七百五十

一坪六合五勺中、重ナル者七回。
 一、二月一日火災 左ノ如シ。

月日	發火時間	風勢	元地名姓名	火起原因	燒失家屋區分	合戸數	合坪數	死傷
一月廿一日	發火時間 ○明治廿一年二月一日 午前二時三十分	北風 弱	淺草區聖天町廿四番地 平民長堀房藏	火消壺	板二階家類全燒 同二階家八十四、半十一戸	二百三十戸	千四百九十坪九合	傷 五人

消防本署火災報告

二月一日○明治廿一年。曇。
 午前零時四十分、淺草區聖天町二丁目二十四番地綿商長堀房藏方物置ヨリ
 帝都時代ノ火災

附記
 明治廿一年一月火災

明治廿一年
 二月一日
 火災
 二月廿二日
 火災
 三月十五日
 火災
 五月廿二日
 火災

六月十九日
 火災
 十二月十三日
 火災
 十二月廿六日
 火災

明治廿一年
 火災事蹟

二月一日
 火災

發火シ、聖天町ニテ全燒百五十九戸、半燒九戸、同横町全燒二十五戸、半燒三戸、猿若町三丁目全燒十一戸、半燒三戸、合計百九十五戸、半燒十五戸、外土藏一箇所燒失、二時四十分鎮火セリ。

東京府日誌○官報同。

二、二月廿二日火災 官報ニ、

同○明治廿一年。午後四時四十分、日本橋區本材木町一丁目四番地東京郵便局ヨリ出火、全燒一棟、及民家四戸燒失、同五時四十分鎮火セリ。又右ニ付キ、遞信省ヨリノ報告ニ依レハ、東京郵便局並ニ東京遞信管理局共、書類物品等悉皆燒失セリ。

〔附記〕 官報ニ據レバ、

昨日○明治廿一年三月午前一時三十五分、芝區三田四國町三番地内田時三郎方ヨリ出火、三番地、四番地、ニテ全燒四十一戸、物置一棟、三田一丁目へ延ヒ、十九番地ヨリ二十二番地ニ至リ、全燒十四戸、半燒一戸、同二丁目ニテ、全燒六戸、合計全燒六十一戸、半燒一戸、物置一棟燒失。同三時三十分鎮火。(○消防本署火災報告ニハ、燒失六十一戸、四百十年八合ト有リ。)

三、三月十五日火災 消防本署火災報告左ノ如シ。官報ハ燒失戸數ヲ全燒四十五戸、半燒二戸トス。

二月廿二日火災

明治廿一年三月二日火災

三月十五日火災

月日	發火時間	風勢	元地名姓名	火起原因	燒失家屋區分	合戸數	合坪數	死傷
十五日 ○明治廿一年三月	午後九時三十分	北風稍強	深川區富岡門前東仲町十四番地土族田口篤信	火鉢	板二階全燒一戸 瓦二階家類燒二、半一戸 同二階家類燒三、半二戸 同二階家類燒廿八、半三戸 同二階家類燒廿九、半三戸	六十九戸	六百五十九坪四合八勺	傷六人

〔附記〕 官報ヲ抄ス。

一昨八日○明治廿一年五月午後七時五十分、東京府麻布區龍土町十三番地東京鎮臺第三聯隊工作場ヨリ出火、工作場一棟燒失、同九時鎮火ス。原因石灰。

四、五月廿二日火災 傳ヘテ左ノ如シト爲ス。

月日	發火時間	風勢	元地名姓名	火起原因	燒失家屋區分	合戸數	合坪數	死傷
廿二日 ○明治廿一年五月	午前十一時三十分	東北風弱	神田區鍋町廿九番地平民太田ハツ	竈煙出	瓦二階全燒一戸 金屬平家類燒三百九十七、半八戸 同二階家類燒二百五十五、半四戸 瓦二階家類燒二百六、半七戸 同二階家類燒百八十六、半三戸 瓦二階家類燒百八十七	八百八十六戸	五千七百七十四坪一合	傷十八人

消防本署火災報告

五月廿二日○明治廿一年。晴。

此日午後十一時三十分、神田區鍋町二十五番地燒薯渡世太田はつ方ヨリ出帝都時代ノ火災

明治廿一年五月八日火災
五月廿二日火災

火、七箇町ニ延燒シ、總計全燒七百七十九戸、半燒四十五戸、神社一箇所、物置十二箇ニシテ、内鍋町全燒百六十九戸、半燒九戸、鍛冶町全燒二十戸、半燒六戸、多町一丁目全燒百六十一戸、半燒八戸、物置七箇、蠟燭町全燒二十五戸、豎大工町全燒百九十戸、半燒二戸、物置二箇、新銀町全燒百五十八戸、半燒十七戸、神社一箇、物置三箇、旭町全燒四十九戸、半燒三戸、上白壁町全燒七戸、翌二十三日午前

三時四十分鎮火ス。原因過失ナリ。

東京府日誌

報同。

六月十九日火災

月日	鎮火時間	風勢	元地名姓名	火起原因	燒失家屋區分	合戸數	合坪數	死傷
十九日	午前二時	北風	赤阪區青山	火消壺	瓦二階家全燒	一戸	九百卅	傷
(○明治)	午前二時	北風	北町三丁目	火消壺	練瓦二階家	九半一戸	六坪五	傷
廿一年六	四十分	弱	二番地平民	火消壺	同二階家	四半一戸	六坪五	傷
鎮火	同四時		瀧口清次郎	火消壺	同二階家	十一半一戸	合七勺	消防組
月)					瓦二階家			四人
					板平物置			

官報ハ全燒八十五戸、土藏一箇所トス。

〔附記〕 官報ニ、

同(○明治廿一年六月二十日)午前一時十五分、牛込區築土八幡町九番地小澤良助方

明治廿一日火災

年六月廿一日火災

二月十三日火災

ヨリ出火、全燒十三戸、半燒四戸、土藏三箇所、物置一箇所、燒失、神社門一箇所、半燒ニテ、同午前二時二十五分鎮火セリ。(○消防本署火災報告ニハ、燒失廿一戸、四百卅五坪一合六勺、負傷消防夫四人ト見ユ。)

六、十二月十三日火災 傳フラク、

十二月十三日(○明治廿一年)晴。

内務省へ届

本日當府議事堂ヨリ出火、一棟燒失、午後十二時鎮火致シ候。其原因ハ未詳ニ候得共、市區改正圖面取調ノ爲メ、同所ニ於テ夜業爲致候處、同所ニ在ル火鉢ノ殘火ハ退廳之際悉皆爲取消候趣ニ候得共、或ハ右ノ火鉢ヨリ發火候儀ト

十二月十四日

議事堂燒失ノ原因警察署町へ通報

昨十三日午後十時四十分、本府議事堂ヨリ失火ニ付、其際不取敢御通報置候處、尙右失火ノ原因取調候ニ、同日市區改正掛擔當ノモノ十名程居殘リ、地坪等取調ノ爲メ夜業ヲ爲シ、同七時頃退散跡、火氣等不殘様注意シ引取候得共、右室内ニ在ル大火鉢ノ餘燼、底板ヲ燒拔キ、床板ニ燃移リ、發火候儀ト見認候。

帝都時代ノ火災

〔附記〕 官報ニ據レバ、

明治三十三年三月火災
六月六日

同(○)明治三十三年三月五日(午後十一時十五分、深川區冬木町十番地明治醫院物置ヨリ出火シ、全燒十八戸、半燒二戸。納屋二箇所燒失。同十一時五十分鎮火ス。原因放火。
四、六月六日火災 消防本署火災報告左ノ如シ。

月日	發火時間	風勢	元地名姓名	火起原因	燒失家屋區分	合戸數	合坪數	死傷
六月六日(○)明治三十三年六月三日	發火時間 午前二時十分	北東	日本橋區久松町三十八番地劇場千歲座	吸煙	塗二階家全燒 瓦平物置燒 瓦二階家半燒	一一棟 七戸	四百卅二坪 九合	傷一 消防組

五、六月廿三日火災 傳フル所ニ據レバ、

六月廿三日火災

月日	發火時間	風勢	元地名區分	火起原因	燒失家屋區分	合戸數	合坪數	死傷
廿三日(○)明治三十三年六月	發火時間 午前十時十分	西南	本鄉區春木町二丁目九番地平民燒豆商古谷權	吸煙	板平全燒 煉瓦平家燒 金屬平家燒 瓦平家燒 同二階家燒 同二階家燒 同二階家燒 瓦二階家燒 板平物置燒	九百十戸 四戸	一萬三百六十五坪 九合五勺	傷機關士 附屬二人 消防組 十人

消所本署火災報告

一昨二十三日(○)明治三十三年六月。午前十時三十分、東京市本鄉區春木町二丁目九番地

平民燒豆商古谷權藏所有家屋ヨリ出火、折節西南風甚ダ激烈ニシテ、忽チ火勢八方ニ蔓延シ、全燒九百三十四戸、半燒三十九戸ニシテ、同午後一時四十分鎮火ス。人畜燒死ナシ。負傷者アリ、戶主古谷權藏ハ、所用ニ附キ、當時上州地方ニ旅行シ、同町七番地平民團子商大關吉造ナル者留守ヲ托セラレ、毎夜宿泊シ居レリ、出火ノ時ハ吉造ハ外出シテ不在ナルモ、出火ノ原因ハ、吉造ガ粗漏ヨリ出テタルモノト認定ス。而シテ燒失セシ家屋等ノ詳細ハ、左ノ如シ。

本郷一丁目	自一至六番地	全燒十三戸。半燒四戸。	計十七戸。
春木町一丁目	自一至四十二番地	全燒百七十七戸。半燒五戸。	計百八十二戸。
春木町二丁目	自一至六十四番地	全燒二百三十八戸。半燒十四戸。	計二百五十二戸。
春木町三丁目	自一至三十二番地	全燒百九十四戸。半燒四戸。	計百九十八戸。
金助町	自一至二十九番地	全二百四十八戸。半燒九戸。	計二百五十七戸。
湯島六丁目	自一至十七番地	全燒六十四戸。半燒三戸。	計六十七戸。
合計		全燒九百三十四戸。半燒三十九戸。	

總計九百七十三戸。外ニ土藏半燒一棟。物置全燒廿五戸。

〔附記〕 官報ニ見ユ。

同(○)明治廿三年十一月二日午後九時四十五分、四谷區麴町十三丁目十五番地建具職塚田常吉方ヨリ出火、全燒三十七戸、半燒三戸、電話線柱二本、非常報知線柱一本燒失、鎮火ス。原因過失。

六、十二月廿五日火災 左ノ如シ。

月日	鎮火時間	風勢	火地名姓名	火起原因	燒失家屋區分	合戸數	合坪數	死傷
廿五日 (○)明治 廿三年十 二月)	發火前二時五十分 鎮火四時卅分	西北 風強	淺草區馬道 町一丁目八 番地小川 作太郎	ランプ	板平家全燒 煉瓦二階家燒 瓦二階家燒 同二階家燒 同二階家燒	四十一戸 廿三、半三 五、半七 五、半九 四十九戸	二百十戸 合 千七百七十九坪六	傷關附 機屬三 消防組 三人

消防本署火災報告

十二月廿五日(○)明治廿三年。晴。

午前三時十分、淺草區馬道町一丁目十番地小川作太郎方ヨリ出火、全燒二百七戸、土藏一箇所、公園中店煉化造五棟半、半燒十一戸ニシテ、五時三十分鎮火。

東京府日誌(○)官報同。

廿四年(○)明治(○)紀元 一月廿日拂曉、衆議院(○)市内麴町區。火ヲ失シ、貴族院ニ延燒シ、全部烏有ニ歸ス。(○)消防本署火災報告。官報。廿三日(○)明治廿四年(紀元)一月。淺草

明治廿四年
火災
一月廿日
火災
一月廿三日

區新吉原京町(○)市内。出火、七十七戸、四千二百廿四坪餘ヲ燒ク。(○)消防本署火災報告。官報。廿五日(○)明治廿四年(紀元)一月。日本橋區小傳馬町一丁目(○)市内。火有

一月廿五日
火災

二月十日
火災

り。(○)消防本署火災報告。官報。二月十日(○)明治廿四年(紀元)一月。麻布區飯倉町一丁目(○)市内。失

火、燒失百四十四戸、一千百七十二坪餘ニ及ブ。(○)消防本署火災報告。官報。東京府日誌。

明治廿四年火災 火災總計四百九十六箇所、九百廿五戸、一萬九千三百卅五坪

明治廿四年
火災事蹟
一月廿日
火災

五合六勺、内重ナル者四回也。

一、一月廿日火災 是日帝國議會議事堂燒失ス。

本日(○)明治廿四年 午前零時四十分、衆議院ヨリ失火、貴族院ニ延燒シ、全部ヲ燒失セリ。

火災事蹟

一昨十九日(○)明治廿四年一月。午後十一時三十分、衆議院常任委員室ヨリ出火シ、貴族院トモ燒失ス。但シ兩院書記官長官舎及倉庫ハ燒燬ニ至ラス。翌二十日午前五時五分鎮火。原因ハ常任委員室天井右方ノ電氣線ヨリ發火、切斷ノ暇ナク、左方電氣線ニ移リシナリ。

官報

帝都時代ノ火災

一一九五

月	日	發火時間	風勢	元地名姓名	火起原由	燒失家屋區分	合戶數	合坪數	死傷
廿〇日	明治廿四年一月	午前零時四十分	西北風弱	麴町區內幸町二丁目帝國議會	電管	全燒 塗二階家類燒 一棟	二戶	三千八百六十九坪〇四勺	傷機關士四人 附屬四 消防組七人

消防本署火災報告

廿日〇明治廿四年一月

曉二時頃門を叩く者あり、起て問へば警部某也。一時前々衆議院出火、今ハ貴族院にも及べし、依る報すと。

小中村翁日記

帝國議會出火ニ付上申

明治廿四年一月十九日當直の處、翌前零時四十分頃、巡查三村久松より、衆議院內第四十一號室入口廊下天井の一隅より發火したる趣急報に依り、直に現場に臨みたるに付、迅速に巡查を指揮し、守衛と共に充分消防に盡力致したる際、又々階上政府委員室より白烟を噴出するを見認め、直に入口の戸を打毀し、巡查土岐彦八郎と共に入りたるに、同天井西側一隅電燈線より青色火を發し、室内隅に電燈線ある壁間より白烟吹出せり。依て巡查を指揮し、漸く同所丈は消止めたるも、既に彼處此處の壁間より白烟噴出するに依り、議場は如何と傍聽席入口の戸を開き見たるに、此時已に議場各所の電燈線發火し居たり。此際議會備付のポンプ用意整ひ候に付、之を指揮し消防に従事候得共、四方の電燈線發火し、火勢熾んにして、天井裏は已に一面の火烟となり、最早消防従事するも到底消火の見込無之ものと思料し、玉座議長室を始め、各室の緊要書類物品等を搬出に従事せり。前顯の始末にて全く電氣の作用より發火したるものと認候。依て別紙巡查手續書相添、此段上申候也。

明治廿四年一月廿日

帝國議會派出 警部 橋口 常彦

同 山本 喜勢治

東京日々新聞

〔參考〕 官報ニ

内閣總理大臣ヨリ左ノ通知ヲ領シタルニ依リ、即日假議場及假事務局ヲ麴町區內幸町鹿鳴館ニ移シタリ。

議會々場失火燒失ニ付テハ、政府ニ於テ、速ニ鹿鳴館ヲ以テ貴族院假議場ニ當テ、可成速ニ議事ニ差支ナキ様手配イタス筈ニ候間此段及御通

帝都時代ノ火災

明治廿四年一月火災

同○明治廿四年一月二十八日午後七時四十五分、牛込區横寺町三十六番地寶泉寺假本堂空屋ヨリ出火シ、住職居所及ヒ本堂佛堂二箇所、外ニ全燒三戸、半燒二戸、同時五十分鎮火ス。原因放火。

二月十日火災

四、二月十日火災 左ノ如シ。

月日	發火時間	風勢	元地名姓名	火起原因	燒失家屋區分	合戶數	合坪數	死傷
十月十日 ○明治廿四年二月	發火五時五十分 鎮火九時二十分	西北 風強	麻布區飯倉町一丁目十番地平民	藁灰	板平全燒 瓦平家類 同二階家 瓦平階家 同土藏 板平物置	一戶 二十五戶 二十八戶 二棟 廿六、半棟	四百四十 二百百七 十二坪九 合一勺	傷機關士 附屬六 消防組 五人 死一人

消防本署火災報告

同○明治廿四年二月十九日午後十二時、下谷區練堀町六十八番地ヨリ出火、同十六番地及松永町二十九番地マテ延燒シ、全燒二十三戸、半燒八戸、昨二十日午前一時二十分鎮火。
同○明治廿四年二月二十八日午後五時四十五分、赤阪區一ツ木町十三番地威徳寺田邊榮智方出火、不動堂一、大師堂一、茶枳尼天堂一、住宅及物置各、一戸燒失ス。原因洋燈掃除ノ際石油ニ火移リタルニ依ル。住職田邊榮智火傷セリ。
昨十日○明治廿四年三月午前三時二十五分、麴町區有樂町三丁目二番地議員集會所ヨリ出火、同所燒失、同四時四十五分鎮火。原因火鉢。
同日○明治廿四年三月十八日午後十一時三十分、牛込區市谷柳町四十五番地宗圓寺ヨリ出火、同十二時鎮火ス。本堂一、庫裏長屋一、觀音堂一、稻荷社一、物置二戸燒失ス。原因放火ト認ム。

〔附記〕 官報ニ據ル。

官報○東京府日誌異事ナシ。

明治廿四年二月十日火災

時二十分鎮火。

去月○明治廿四年二月二十八日午後五時四十五分、赤阪區一ツ木町十三番地威徳寺田邊榮智方出火、不動堂一、大師堂一、茶枳尼天堂一、住宅及物置各、一戸燒失ス。原因洋燈掃除ノ際石油ニ火移リタルニ依ル。住職田邊榮智火傷セリ。
昨十日○明治廿四年三月午前三時二十五分、麴町區有樂町三丁目二番地議員集會所ヨリ出火、同所燒失、同四時四十五分鎮火。原因火鉢。
同日○明治廿四年三月十八日午後十一時三十分、牛込區市谷柳町四十五番地宗圓寺ヨリ出火、同十二時鎮火ス。本堂一、庫裏長屋一、觀音堂一、稻荷社一、物置二戸燒失ス。原因放火ト認ム。
同日○明治廿四年三月十九日午前五時十五分、芝區赤羽町海軍造兵廠出火、同時五十分鎮火ス。物置全燒二棟、半燒物置二棟。原因鐵屑へ油ノ滲ミタルヨリ、熱度ヲ醸シ發火セシモノト認メタリ。
昨十五日○明治廿四年四月午前四時、京橋區新榮町四丁目三番地居留清國人孫忠方ヨリ出火、全燒二十三戸、半燒十四戸、同時三十分鎮火ス。原因過失。
一昨一日○明治廿四年六月午後六時五分、麴町區道三町農商務省地質調査分析所出火、全燒一棟、同五十分鎮火ス。原因分析所竈ノ煙突。

明治廿五年一月火災

消防本署火災報告ニハ、明治廿五年一月七日深川區蛤町一丁目失火、五十一戸二百十七坪二合五勺燒ケ、消防組一人負傷シ、二月廿七日南豐島郡内藤新宿火有リ、百卅九戸二千百八十六坪燒失シタルコト見ユ。

明治廿五年火災

廿五年○明治〇紀元
三月卅日、芝區烏森町_内市失火シ、三百九戸、三

帝都時代ノ火災

三月卅日
火災

千二百九十一坪餘ヲ燒ク。死傷有リ。○消防本署火災報告。○官報。東京府日誌。是夜下谷區

四月五日
火災

役所○市内燒ク。○官報。○明治廿五年(紀元二五五二年)。麻布區網代町○市内火

四月十日
大火

有リ。○消防本署火災報告。○官報。○明治廿五年(紀元二五五二年)四月。午後零時卅分、神田區猿樂町

○市内火ヲ失シ、北西風強ク、四千七百七十戸、四萬四千二百九十五

坪餘ヲ延燒シ、死者男廿一人、女三人、傷者男二人、消防機關附屬

四人、消防組卅人ヲ出ス。午前八時、日本橋區本銀町○市内ニ飛火

四月十一日
火災

ス。燒失九十四戸、九百十九坪餘也。○官報。東京府日誌。○消防本署火災報告。十一日○明治廿五年(紀元二五五二年)四月。芝區西久保神谷町○市内失火、二百六十八戸、二千八百四坪

餘燒失ス。○消防本署火災報告。東京府日誌。夜、芝區愛宕下町三丁目○市内火有リ、燒失

五百七十六戸、四千八百六坪餘ニ上ル。○消防本署火災報告。東京府日誌。十一月十一

十一月十一日
火災

日○明治廿五年(紀元二五五二年)。淺草區新福井町○市内失火、五百九十八戸、四千三

百八十六坪餘ヲ燒ク。○消防本署火災報告。東京府日誌。十二月六日○明治廿五年(紀元二五五二年)。本

十二月六日
火災

鄉區元富士町○市内帝國大學構内火有リ。○消防本署火災報告。○官報。

明治廿五年
火災事蹟

三月卅日
火災

明治廿五年火災 明治廿五年東京ニ於ケル火災ハ、總計三百九十七箇所、燒失

スル所六千六百七十六戸、六萬八千九百卅三坪四合七勺也。内其重ナル者八回

ニシテ、就中其一回ハ此ノ頃ニ於ケル大火ナリトス。

一、三月卅日火災 兩度。

月日	發火時間	風勢	火地名姓名火起原由	燒失家屋區分	合戶數	合坪數	燒失家屋概價	死傷
三月卅日	發火 午後五時		芝區烏森	板平物置全棟	三百九戶	三千二	二萬七	傷機關士二人
○明治廿五年三月	鎮火 同七時十分		町五番地 平民茶商 岡田源三郎	煉瓦平家 六十六、半五戶	三百九戶	一千七十	四圓五	消一人
				瓦平家 六十六、半五戶	三百九戶	一千七十	四圓五	消一人
				金屬平家 百七十、半九戶	三百九戶	一千七十	四圓五	消一人
				板平家 百七十、半九戶	三百九戶	一千七十	四圓五	消一人
				同二階家 百七十、半九戶	三百九戶	一千七十	四圓五	消一人

消防本署火災報告

同日○明治廿五年三月三十日。午後五時二十分、芝區烏森町五番地北坊健藏方ヨリ出火、全燒二百八十八戸、半燒二十一戸、物置七箇燒失。同七時三十分鎮火ス。原因過失。

是其一。

同日○明治廿五年三月三十日。午後十一時二十分、下谷區仲徒町四丁目五十四番地、下谷

帝都時代ノ火災

今朝非常ノ大火ニ付キ、左ノ廉々御報道可致旨、御照會ノ趣了承、目下取調中ニ付キ分明ナラサレトモ、先ハ不取敢及御回答候也。

一、失火ノ時刻、午前零時三十分。

一、鎮火ノ時刻、午前十一時三十分。

一、焼失ノ町數、凡ソ二十町。

一、焼失ノ戸數、當管内ノ分凡ソ四千戸。

一、死傷者ノ數、死亡十九人、負傷一人、但シ壓死一人。

神田大火報告 本月○明治廿五年四月十日、東京市神田區ノ大火ニ關スル概報ハ、同十二日ノ本欄ニ掲載セシカ、尙ホ消防司令長ヨリ警視總監ニ呈シタル報告ハ、左ノ如シ。

明治廿五年四月十日午前一時十五分、小川町警察署ヨリ非常報知機ヲ以テ出火ノ報アリ、時恰モ前日來吹續ケル西北ノ烈風ニシテ、加フルニ人家稠密ノ地ナルヲ以テ、事體頗ル容易ナラサルニ由リ、本官即時蒸汽唧筒ノ總出及消防組ノ定員出場ヲ令シ、續テ自ラ現場ニ出張シ、其參集スル所ノ唧筒並ニ消防組ヲ各要所ニ配置シ、各自勇往奮勵消防ニ從事シ、先ツ第一著ニ警察署傍近及小川町ヲ限トシ、是ヨリ東南ニ延燒スルナカラシメン

ト欲シ、防禦最モ力メ、火勢稍減縮ヲ見ルノ折柄、風勢頓ニ加リ、一層猛烈、且ツ其方位モ亦變轉極ナク、爲ニ一時ニ火勢ヲ煽動シ、忽チ表裏神保町・小川町一番地・錦町一丁目其他三河町二丁目美土代町二丁目日本石町二丁目等ニ飛火シ、前後各所ニ敵ヲ受クルノ狀アリテ、既ニ後背襲來ノ火熾ニシテ、退路ヲ遮斷セラル、ノ危險ニ陥ルト雖モ、亦之ヲ顧ミルナク、只管其火口ヲ防止センコトヲ力メタリ。是レ此火口ハ最モ要衝ニシテ、之ヲ防止スレハ大ニ火勢ヲ減殺シ、隨テ他ノ延燒ヲ減スルノ見込アリシヲ以テナリ。然ルニ如何セン、風威彼ノ如ク兇暴ニ涉リ、飛火ノ地又一面延燒シ、焰煙天ニ漲リ、火風地ヲ捲キ、蒸汽唧筒モ之ヲ使用スルニ術ナキノミナラス、進退維ニ谷リ、將ニ火中ニ一掃セラレントスルノ狀勢ナルヲ以テ、已ムヲ得ス其位置ヲ轉セリ。嗚呼其殆ト將ニ消止セントスルノ位置ヲ去リ、終ニ爲ニ要衝ノ地ヲシテ烈火ノ蕩盡スル所トナルニ至ラシメシハ、實ニ遺憾ト云フモ餘アリ。此ノ如キ者獨リ此防禦口ノミナラス、他數箇所ニ在リテモ猶ホ相同シキモノアリシ也。抑、此火災タル、半夜人定後小家屋櫛比ノ地ニ起リ、殊ニ方位不定、猛烈旋風ノ如キ風伯ノ暴威ヲ逞フスルアリテ、飛火散發、甲口

未タ消止セサルニ、乙口忽チ起リ、丙丁戊己等、各所一面火トナリ、消防員ノ進退應援ニ困苦シタルコト、蒸汽唧筒設置以來未曾有ノ難事ニシテ、其唧筒ノ進退轉置シタルコト、各臺概ネ六七回トス。而シテ其消防ニ從事ノ時刻タル十時間餘ノ長キニ涉レリ。以テ部下各員ノ困難ナリシコト又言ヲ待タサルベキ也。神田關口防禦ノ際、某外國人在リ消防官ニ云ヒテ曰ク、君等奮勵スルニアラサレハ、此學校(神田小學校)ハ救ヒ護ラルヘカラス、我本國ノ如キ、家屋ハ皆不燃質物ニシテ、飛火ノ患アルナク、防火ノ具消火ノ水又共ニ完備セリ、日本ハ之ニ反ス、是等ノ困難察スルニ餘リアリト。其慰諭ノ言ヲ聞ク、本官等豈ニ慨愧ニ堪ヘンヤ。然レトモ此烈風烈火ニシテ猶ホ四千有餘戸ノ燒失ニ止リシモノハ、蒸汽唧筒ノ效力、及消防各員ノ勇奮素ヨリ多キニ居ルト雖モ抑、亦龍閑橋筋開作ノ新河、及大通堅屋ノ障ト爲リシモノ、亦其效少シトセス。若シ此機械障障等ナカリセハ、其底止スル所未タ知ルヘカラス、機械水利障障ノ事講セスンハアルヘカラサル也。當日ノ狀況ハ、閣下出馬既ニ實視セラル、所ナリト雖モ、非常ノ大火ナリシヲ以テ、別紙略圖[○]等ヲ副ヘ、茲ニ其梗概ヲ報告候也。

明治二十五年四月十三日

消防司令官 川畑種長

警視總監 園田安賢殿

官報

〔參考〕 明治廿五年四月十一日神田區假役所ヲ設ク、官報左ノ如ク記ス者是也。

東京市ニ於テハ、神田區役所燒失ニ付キ同區淡路町二丁目小川小學校

ニ假役場ヲ設ク。

○明治廿五年
四月十日 正午晴 寒暖計五十九度

〔出火〕

午前一時十五分、神田區猿樂町一番地平民飲食店業宮本周藏方ヨリ出火、時ニ西北風猛烈、延燒數十町ニ涉リ、小川町警察署、神田區役所等ヲ始メ、全燒概略三千九百五十三戸、半燒百二戸、合計四千五十五戸ニシテ、燒死者男女十九人アリ。同十一時鎮火ス。再報ニ曰ク、死者二十五人ト。

右ニ付、知事以下主務課員其他直ニ登廳避難所ヲ設置シ、類燒窮民救護負傷者治療等ノ事ヲ理ス。

——東京府日誌

廿五年[○]明 四月十日午前零時三十分、神田區猿樂町火を失す。當日は前夜九

時頃より北風起り、其勢極めて猛烈なりしが、市中戸毎に火の用心に注意するは勿論、警察消防署は、孰れも消防器を整頓して非常は備へ、警戒怠りなかりしが、火起るや、忽にして燃廣かり、火道は三岐して、一は小川町通り、一は表神保町通り、一は錦町通りを進み、遂に三河町美土代町を蕩盡し、鎌倉河岸に出て、飛んで本石町通りに折曲り、漸く九時三十分に至り、千代田町邊にて一旦鎮火せんとしたるに、殘火は更に暴風に誘はれて燃騰し、火勢猛烈にして何處の果まで焼拂ふかと人をして悚然たらしめしが、幸にして一方は今川町天麩羅屋仲野、一方は鍛冶町の大通り卅二番地にて漸く熄滅せり。時に午前十一時卅分なりき。此火災消防の方法は、最初猿樂町一番地より出火の報あるや、直に蒸汽唧筒を出し、裏神保町にて防禦する見込なりしに、風位は轉して向街に移り、二分して、一方は裏神保町三番地に及ぼし、唧筒を使用せる後の方を焼き拂ひて遂に防くこと能はず、八臺の蒸汽唧筒は二隊に分れ、一面は錦町三丁目の中央より濠水を引き、一面は美土代町四丁目角にて防禦する見込なりしに、又西風は北風となりて三河町の方へ延焼せり。此時は火口五ヶ所にて焼き立たれば、如何ともする能はず、已むなく四臺の唧筒は

廻りて今川橋新川の水を使用せり。又錦町の唧筒も同じく二臺來りて共に盡力せし故、龍閑橋角にて之を防止せしに、塗師町の火は、飛びて新石町二丁目へ燃移りしに、今迄一面に居れる三臺を飛火の方へ使用し、且つ各區より來りし消防組の力にて漸く鎮滅するを得たり。古來大火災の時に於て、燒死者負傷者を出すは敢て珍しからぬ事ながら、此の大火に際し、神田區小川町勸工場洽集館一ヶ所のみにて十八名男十七人、女一人の燒死者を出せし如きは實に稀なりとす。右は留守居番及び近傍の出店人にて、出火と聞くや、陳列物品を取出さんとて館内へ飛込みしが、出口は裏表二ヶ所のみなれば、出遅れたるもの多きのみか、最早間近く燃え迫りし故、表に居る人々は防火の爲めに戸を閉ちたれば、愈々益々出口を失ひ、無慘の最後を遂けたるにて、焼け爛れて身首處を異にするあり、手足燒燼して僅かに胴骨を餘すあり、慘狀實に目も當てられぬ有様なりき。其翌日(即ち四月十一日)警察官は人夫を指揮し死體を發掘して夫々棺に納めしが、妻子來りて棺を擁して哭するあり、遺父母來りて死體を抱き聲を放て泣くあり、今此事を記するだに、其當時をしたのは、悚然禁する能はず、殊に其死體中鑑定の付かぬ者多く、中には一個の

四月十一日 明治廿五年

〔出火〕

午後八時、芝區愛宕下町三丁目一番地鍛冶職關早太郎方芥溜ニ捨テタル熱灰ヨリ發火ス。府廳近火、且ツ方位風下ニ當ルヲ以テ、知事以下各課員直ニ上應防禦ノ手配ヲナシ、警戒ヲ嚴ニス。全燒四百九十四戸、半燒十九戸、同十時四十分鎮火ス。

東京府日誌

〔參考〕 江戸の花報所收。ニハ左ノ如ク見ユ。

廿五(○)明治年四月十一日午後六時頃より南風吹き出してなか／＼に強かりしかば、人々火事沙汰のなからむことを祈り居れり。折りしも午後八時四十五分、芝區愛宕下町三丁目一番地鍛冶職關早太郎方より出火し、夫といふ間に、火の手は八方に廣がりしか、時刻早ければ見舞の人々は忽ちに駈け付しも、同所は舊大名の屋敷跡なれば、小さな長屋多くして、瓦葺少くして板葺多く、連日ノ晴天に何れも乾き居りし爲め、瞬時に大火になり、火の道は三岐し、一は愛宕下町大通りを拂ひ、中央は鳥森に向ひ、一は裏通りを後ればせに燒き來り、中火は鳥森神社内西側を襲ひ、既に神社も烏有に歸せむ許りなりしが、風威此所に至りて頓に挫折し、且つ此所は境内より消防の利便もありて、消防夫等必死に盡力せし爲め、幸に鎮滅し、東は神社の角筑波館(旅人宿)にて止めたりけり。燒失戸數五百七十六戸にて、鎮火せしは十時三十五

分なりし。元來此邊は水の利悪しく、蒸氣唧筒數臺は、遠く幸橋の濠水を使用せし趣なれど、西方なる愛宕下町通りは大路なりしかは、消防にも大に便利を與へたるを以て、前街には移らず。同夜は團田警規總監にも同所へ派出して指揮せられたりと。

〔附記〕 官報ニ、

昨二十六日(○)明治廿五年八月。午前三時四十分、小石川區表町九十三番地慈眼院住職越岡俊岡方ヨリ出火、該堂一棟燒失、同四時鎮火ス。原因放火。

五、十一月十一日火災、ハ、消防本署火災報告左ノ如ク記ス。官報東京府日誌共ニ異事無シ。

月日	發火時間	風勢	火地名姓名	火起原由	燒失家屋區分	合戸數	合坪數	燒失家屋概價	死傷
十一月十一日 (○)明治廿五年十一月	午後十一時廿五分 發火 鎮火 翌午前二時五十五分	西北 風強	淺草區新 福井町三 番地平民 葬具職茂 手木キヤン	摺附木	板平家 全燒 類燒 一戸 瓦平家二百卅二、半六戸 同二階家三百九十、半一戸 金屬平家 十五戸 板平家 四十七戸 同二階家 六戸	五百九十八戸	四千三百八十八坪八分	二萬六千三百八十四圓四十八錢	機傷一人 消十七人

六、十二月六日火災ハ、

帝都時代ノ火災

明治廿五年八月十一日火災

十二月六日火災

月日	鎮火時間	風勢	火地名姓名	火起原因	燒失家屋區分	合戶數	合坪數	燒失家屋概價	死傷
五月廿五日 明治三十一年	午後十時	北風	本郷區元富士町三番地	燬爐	全燒	二棟	五百三十二坪	一萬八千八百三十三圓	一機傷 一人
五月廿五日 明治三十一年	午後十一時	弱北風	大塚區醫學分室	燬爐	二棟	一棟	三百三十一坪	六千八百三十三圓	一機傷 一人
五月廿五日 明治三十一年	午後十一時	弱北風	同	燬爐	同二階家	一棟	三百三十一坪	六千八百三十三圓	七消防組

消防本署火災報告

一昨五日 明治三十一年十二月。午後十時十分、東京市本郷區元富士町帝國大學構內婦人科病室ヨリ出火、全燒一棟、半燒三棟、同十一時三十五分鎮火。原因燬爐。

官報

明治廿六年
一月廿二日
火災
二月十一日
火災
三月十八日
火災
四月四日
火災

廿六年 明治三十一年。一月廿二日、淺草區西鳥越町内。火ヲ失シ、二百七十七戸、二千五百八十九坪餘ヲ燒亡ス。報告。東京府日誌。二月十一日。芝區本芝二丁目内。出火。類燒有リ。報告。東京府日誌。六月二日。明治三十一年。京橋區川口町内。火有リ。報告。東京府日誌。三月廿八日。明治三十一年。神田區和泉町内。失火シ、四百十五戸、六千七百三十坪餘ヲ燒ク。報告。東京府日誌。四月四日。明治三十一年。牛込區改

四月十三日 火災

代町内。火有リ。報告。本署。十三日。明治三十一年。四月。淺草區新吉原

揚屋町内。火ヲ失シ、七十六戸、二千七百七十一坪餘ノ燒失有リ。報告。東京府日誌。六月廿日。明治三十一年。淺草區山谷町内。失火有リ。

六月廿日 火災

九月七日 火災。報告。本署。九月七日。明治三十一年。京橋區築地三丁目内。本願寺燒

十一月廿六日 火災

ク。報告。本署。十一月廿六日。明治三十一年。深川區洲崎辨天町一丁目内。失火シ、六十五戸、千五百四十二坪餘燒亡ス。報告。官報。十二月廿六日。明治三十一年。深川區西平井町内。火有リ、十二戸、千

十二月廿六日 火災

七十二坪燒ク。報告。本署。

明治廿六年 火災事蹟

明治廿六年火災 火災四百卅四箇所、千七百七十九戸、二萬六千三百七十二坪

一月廿二日 火災

六合二勺ノ内、重ナル者十回有リ。一、一月廿二日火災 左ノ如シ。

月日	鎮火時間	風勢	火地名姓名	火起原因	燒失家屋區分	合戶數	合坪數	燒失家屋概價	死傷
廿二日 明治三十一年	午後三時	西北	淺草區西鳥越町三番地	吸煙	全燒	一戸	二千五百三十一坪	二萬六千三百七十二圓	一機傷 一人
廿二日 明治三十一年	午後三時	西北	同	吸煙	瓦二階家	一戸	二百七十七坪	二千五百三十一圓	一機傷 一人
廿二日 明治三十一年	午後三時	西北	同	吸煙	瓦二階家	一戸	二百七十七坪	二千五百三十一圓	一機傷 一人

帝都時代ノ火災

東京市史稿

廿六年一	鎮火	風勢	小島心一	同二階家	廿四、半二戸	戸	九坪一	圓五十	消防組
月)	同五時			板平家	百十九、半三戸		合二勺	九錢	七人
				同二階家	七、半一戸				

一一一八

消防本署火災報告

一月廿三日 〇明治廿六年 晴
 二十二日午後三時二十分、淺草區西鳥越町三番地小島新一方ヨリ出火、全燒百七十六戸、半燒二十三戸ニシテ、同五時鎮火ス。原因過失ナリ。

東京府日誌

二、二月十一日火災 消防本署火災報告ニ左ノ如ク見ユ。

月 日	鎮火時間	風勢	火地名姓名	火起原由	燒失家屋區分	合戸數	合坪數	燒失家屋概價	死傷
十一月十一日 (〇明治廿六年二月)	午後六時廿分 鎮火七時十分	東北 風強	芝區本芝二丁目 一丁目 一番地内 明家ヨリ	放火	瓦平家全燒 煉瓦平家三十八、半一戸 同二階家三十一、半四戸 同二階家廿六、半五戸 板平家四	九十九	八百五十二坪 一合	六千六百七十 二圓七十五錢	傷消防組三人

東京府日誌ニハ、芝區本芝二丁目一番地藏野吉兵衛所有空家ヨリ出火、全燒八十戸、半燒二十八戸、全百八戸ト有リ。

二月十六日火災

三、二月十六日火災 消防本署火災報告ヲ抄ス。東京府日誌ハ、被害高ヲ全燒九十四戸、半燒十九戸合百十三戸トス。

月 日	鎮火時間	風勢	火地名姓名	火起原由	燒失家屋區分	合戸數	合坪數	燒失家屋概價	死傷
二月十六日 (〇明治廿六年二月)	午前一時 鎮火二時十分	西北 風強	京橋區川町十三番地 番地平民 陶器商安 居院久七	不審火	土藏造二階家全燒 瓦平家五十七、半七戸 同二階家十四、半四戸 金屬平家十六、半三戸 同二階家七	百十四	五百五十八坪 三合	五千二百三十七 九圓七	傷消防組一人 消防組一人 機關手一人 四消防組人

附記 官報ニ據ル。

同日(〇明治廿六年二月十七日)午後三時五十四分、下谷區徒士町三丁目十三番地福田とよ方ヨリ出火、全燒三十戸、半燒十一戸、物置一棟燒失。同四時四十分鎮火。原因詳ナラス。

同日(〇明治廿六年二月二十五日)午後一時五分、荏原郡品川町元南品川宿十四番地高石千代藏方ヨリ出火、全燒三百三十五戸、納屋五棟、郵便局一棟、巡查派出所一箇所、電話柱十三本、半燒二十戸。同三時三十分鎮火。原因過失(〇消防本署火災報告ハ、損害高ヲ二百卅四戸、三千四百七十四坪二合一勺、概價二萬三千三百七十三圓五十四錢五厘ト記ス。)

同日(〇明治廿六年三月二日)午後八時四十分、深川區一色町十二番地市村次左衛門方ヨリ出火、全燒三十二戸、半燒十七戸、同九時四十五分鎮火。原因過失(〇消防本署火災報告ハ、損害高ヲ二百卅四戸、三千四百七十四坪二合一勺、概價二萬三千三百七十三圓五十四錢五厘ト記ス。)

帝都時代ノ火災

明治廿六年二月十七日火災

十二月廿八日火災

明治廿七年火災事蹟

一月一日火災

東京市史稿

一二三四

火有リ。

○消防本署火災報告。官報。東京府第一課文書類別。

廿八日

○明治廿七年(紀元二五五四年)十二月。

四谷區舟町

内。市

火有リ。

○消防本署火災報告。官報。東京府第一課文書類別。

明治廿七年火災

是年ニ於ケル市内火災總計三百三十五箇所、千二百七十六戸、一萬九千七坪二合一勺中、重ナル者五回ヲ舉グ。

一、一月一日火災 朝鮮公使館燒ク。

月日	發火時間	風勢	火地名姓名	火起原因	燒失家屋區分	合戸數	合坪數	燒失家屋概價	死傷
一月一日	午前七時四十分	弱北風	麴町區中六番町四十九番地	煖爐	全燒	壹戸	百六十坪	八千五百圓	傷機關手四、消防組人
一月一日	午前七時四十分	弱北風	麴町區中六番町四十九番地	煖爐	全燒	壹戸	百六十坪	八千五百圓	傷機關手四、消防組人
一月一日	午前七時四十分	弱北風	麴町區中六番町四十九番地	煖爐	全燒	壹戸	百六十坪	八千五百圓	傷機關手四、消防組人

消防本署火災報告

明治廿七年一月一日午前七時卅分、本區中六番町四十九番地朝鮮公使館ヨリ失火、一棟燒失、同九時卅分鎮火候條、此段上申候也。

明治廿七年一月四日

東京市麴町區長 富士重本

東京府知事 三浦安殿

追テ、人畜死傷等無之候ニ付、此段添申候也。

附記

〔附記〕

東京府第一課文書類別 府日誌同。

明治廿七年一月十五日火災

區内出火届

昨十六二午後十一時四十五分、米國人スベンサー所有本區明石町十一番館美以美學校ヨリ出火シ、一戸燒失ノミニテ、他ニ延燒セス、本日午前一時鎮火致候。此段及御届候也。

明治廿七年一月十七日

東京市京橋區長 大森敬之

東京府知事 三浦安殿

非常上申

本日午前三時四十分頃、品川町北品川拾壹番地貸座敷渡世里村ヤイ方ヨリ出火、別紙之通類燒致候、尤モ詳細之義ハ取調中ニ有之候。且ツ爲メニ避難所ヲ設クルノ必要無之ト認メ候。此段不取敢及上申候也。

明治廿七年一月廿八日

東京府荏原郡長 林交周

東京府知事 三浦安殿

記

- 一、全燒 三百拾五戸。
- 一、警察署 壹人。
- 一、負傷男 壹人。
- 一、半燒 十六戸。
- 一、町役場 壹人。
- 一、傳馬船 四艘。
- 一、電燈柱 十三本。
- 一、燒死女 壹人。

町役場移轉届

本日午前三時四十分頃、北品川町北品川拾壹番地里村ヤイ方ヨリ出火、同町役場類燒致候ニ付、大字南品川貳百三十八番他へ假ニ移轉、當分之内同所ニ於テ事務取扱帝都時代ノ火災

一二二五

ヨリ失火シ、同丁及ビ田町二丁目三丁目四丁目迄延焼同十一時四十分鎮火セリ。○下

明治二十七年四月六日

東京市赤坂區長 近藤 政利

東京府知事 三浦 安 殿

赤坂區赤坂新町三丁目燒失戶數調

- 一、全燒 參百壹戶。
- 一、半燒 參拾六戶。
- 一、土藏 五 戶。
- 一、物置 六 戶。

東京府第一課文書類別 府官報。東京府日誌同。

五日 〇明治廿七年五月。

夜八時頃、赤坂新町三丁目より出火、十一時に至、類焼二百戸に上りたるも、いまだ鎮火せずと、日本號外にて配達せり。朝。

夜八時、赤坂新町三丁目より出火、焼亡三百戸餘、風つよければ、星が岡邊へ吹つけ、猶皇居吹上あたり邊、火の子來れりと也。零時鎮火。再出。

小中村翁日記

〔附記〕 東京府第一課文書類別ニ、

附記

明治廿七年四月十一日火災

四月十五日火災

神田區内火災上申

今十一日午前一時十分、當區猿樂町廿三番地建具職田中倉吉方ヨリ失火致シ、同町廿四番地裏神保町五番地へ延焼シ、全焼貳拾九戸、半燒三戸ニ而、午前二時鎮火致候條、此段及上申候也。

但、火元倉吉次男政次郎明治廿七年七月廿三日燒死致候ニ付、此段及添申候也。

明治廿七年四月十一日 東京知府事 三浦 安 殿

神田區長 澤 簡 德

三、四月十五日火災 左ノ如シ。

月 日	發火時間	風勢	元地名姓名	火起原由	燒失家屋區分	合戶數	合坪數	燒失家屋概價	死傷
十五日	發火 午前十一時十五分	西北	本所區向 鳥須崎町 五十六番 地平民無 職鳥井フ	烟火	板平家全燒 板平家類燒 瓦平家類燒 同二階家類燒 金屬平家類燒 同二階家類燒 杉平家類燒 同二階家類燒 茅平家類燒 同二階家類燒 瓦二階家類燒	五十九、半五 七五 五七 二八 三二 四半 百廿八、棟	四千二 百八十 坪六合 二勺	七萬二 千五百 四圓六 十三錢	傷 消防官 一 消防組 一 人

消防本署火災報告

同日 〇明治廿七年四月十五日。本所區須崎町五十六番地ヨリ出火、全燒二百十戸、半燒一戸、物置十五棟、土藏二棟、石油製造場一棟、牛島小學校一棟、巡查派出所一、茶店一、郵便函一、引打半鐘柱一、非常報知機柱一燒失、原因烟火。

帝都時代ノ火災

本月十五日日本所區向島須崎町ヨリ失火ノ爲メ、本郡吾嬭村部内左記ノ通類焼ニ罷リ候ニ付、此段及報告候也。

明治廿七年四月十八日

南葛飾郡長 岩田 士景

東京府知事 三浦 安殿

記

一、類焼貳拾戸

内 學校壹戸。
民家拾九戸。

一、焼失棟數

參拾參棟。

——東京府第一課文書類別

〔附記〕 東京府第一課文書類別ニ、

区内淺草松葉町七拾五番地日蓮宗本覺寺ノ、本日午前一時四十分頃出火、本堂・祖師堂及庫裡等焼失、同二時三十分頃鎮火。其出火原因取調候處、祖師堂脇座敷之方ヨリ發火ニシテ、火之緣無之場所ニ付、怪火ト被レ存、且同寺へ止宿罷在候京橋區靈岸島川口町拾四番地坂本銀次郎姉ニ付、五十年ナル者焼死致候間、別紙圖面(○略)相添へ、此段及御届候也。

明治廿七年四月廿日

東京市淺草區長 杉本嘉兵衛

東京府知事 三浦 安殿

区内出火届

附記

明治廿七年四月廿日
午後火災

本月二日午後五時四拾分頃、本區佃島五拾四番地株式會社東京石川島造船所構内人夫假小屋ヨリ出火シ、摸型工場煉瓦二階建壹棟、及木造假小屋貳棟焼失、同七時過鎮火致候條、此段及御届候也。

明治廿七年十一月七日

東京市京橋區長 大森 敬之

東京府知事 三浦 安殿

区内淺草神吉町三拾七番地浄土宗向旭院庫裡ヨリ本日午前一時四十分頃出火、本堂庫裡焼失、半燒貳戸、同午前二時三十分頃鎮火、其出火原因取調候處過失ニシテ、且死傷人等無之候條、圖面(○略)相添、此段及御届候也。

明治廿七年十二月一日

東京市淺草區長 杉本嘉兵衛

東京府知事 三浦 安殿

昨七日正式午十二時三十分、當區東龍閑町五番地旅人宿清水いね方ヨリ發火致シ、同町四、三、十、十一、十二、十三番地へ延燒シ、全燒貳拾三戸、半燒八戸ニテ、同壹時四十五分鎮火候。原因ハ過失ニ有之候。此段上申候也。

明治二十七年十二月八日

神田區長 澤 簡 德

東京府知事 三浦 安殿

四、十二月廿四日火災 左ノ如シ。

十二月廿四日
火災

月 日	發火時間	風勢	火地名姓名	火起原由	燒失家屋區分	合戸數	合坪數	燒失家屋概價	死傷
廿四日 明治廿七年十月	午後四時 發火十五分 鎮火十分	西北 強風稍	麴町區有 樂町二丁目 日二番地 平石工 職白石菜	焙火	瓦二階家全 瓦二階家 瓦二階家 同二階家 同二階家	廿一戸 廿四戸 廿四戸 廿四戸 廿四戸	五百五 六百一 六百一 六百一 六百一	七千八百 四十九百 圓九十五 圓九十五	傷一人 機關手 一消防組人

帝都時代ノ火災

消防本署火災報告

本區有樂町二丁目二番地人力車挽營業白石榮吉方ヨリ、昨廿四日午後四時十五分出火、全燒卅五戶、半燒十四戶、同五時卅分鎮火、人畜死傷無之候條、此段上申候也。

明治廿七年十二月廿五日

東京市麴町區長 富士 重本

東京府知事 三浦 安殿

東京府第一課文書類別〇官報同。

五、十二月廿八日火災 八、

十二月廿八日火災

月日	廿八日 ○明治廿七年十二月廿八日	發火時間	發火時間 前零時廿五分	風勢	西南 風強	火地名姓名	四谷區船 町一丁目 梅次郎 士族大村	火起原因	ランプ	燒失家屋區分	全燒 板平家 瓦平家 同二階 板平家 茅平家	合戶數	四十	合坪數	七百四 十七坪 五合九	燒失家屋概價	六千九 百四十九 圓二錢	死傷	傷 三人
----	---------------------	------	----------------	----	----------	-------	-----------------------------	------	-----	--------	---------------------------------------	-----	----	-----	-------------------	--------	--------------------	----	---------

消防本署火災報告

本日午前零時廿五分、當區四谷舟町壹番地士族大村梅次郎居宅ヨリ發火(原
失過)全燒四拾戶、半燒四戶、物置拾棟、及ビ代用石山小學校壹箇所燒失、同一時四十分鎮火致候。此段及御届候也。

明治廿七年十二月廿八日

東京府四谷區長 津田 彦十郎

明治廿八年一月後
火災

〔附記〕 東京府第一課文書類別ニ據レバ、

東京府知事 三浦 安殿

東京府第一課文書類別

區内出火屑

本月六日午後九時過、本區將監河岸第四十三號地安房汽船株式會社東京支社ヨリ出火、土藏壹棟、木造壹棟燒失、他ニ延燒セス、同十時過鎮火致候條、此段及御届候也。

明治廿八年一月八日

東京市京橋區長 大森 敬之

東京府知事 三浦 安殿

同〇明治廿八年一月三十日午後八時五分、芝區愛宕下町四丁目ヨリ出火、全燒三十

官報

五戶、半燒九戶、原因失過ナリ。昨十七日午前七時四十分、當區本富士町帝國大學構内第十四番官舎雇教師英國人
シヨンジルン氏方ヨリ出火、家屋壹戶、物置二戶燒失、同八時五十分鎮火致候。此段及御届候也。

明治廿八年二月十八日

東京市本郷區長 鴨池 宜之

東京府知事 三浦 安殿

區内淺草三間町廿四番地平民古著紙屑商會根彌太郎方ヨリ、昨廿一日午後八時過出火、全燒貳拾八戶、半燒拾戶、物置壹棟全燒ニシテ、同午后九時三十分頃鎮火致候。其
出火原因取調候處過失ニテ、且死傷人等無之候條、圖面(〇略)相添、此段及御届候也。

明治廿八年二月廿二日

東京市淺草區長 杉本 嘉兵衛

東京府知事 三浦 安殿

廿八年〇明治〇紀元 二月廿七日、淺草區馬道町四丁目〇市 火ヲ失

シ、二百卅二戶、千八百八十五坪餘燒ク。〇消防本署火災報告。官報。三月

帝都時代ノ火災

明治廿八年
二月廿七日
火災

三月廿九日火災

四月十九日火災

十一月廿七日火災

十二月十二日火災

明治廿八年火災事蹟

二月廿七日火災

廿九日 〇明治廿八年(紀元二五五年) 麴町區麴町四丁目 〇市 火有り、七十六戸、千

八百六坪餘燒失ス。 〇消防本署火災報告。官報。 四月十九日 〇明治廿八年(紀元二五五年) 紀

下谷區二長町 〇市 燒夕。 〇消防本署 十一月廿七日 〇明治廿八年(紀元二五五年) 〇下谷

區下谷町二丁目 〇市 火有り。 〇消防本署火災報告。東 十一月十二日 〇明治廿

八年(紀元二五五年) 芝區金杉三丁目 〇市 失火、延燒八百六十七戸、六千五百

九十三坪餘ニ達ス。 〇消防本署火災報告。官報。 〇東京府第一課文書類別。

明治廿八年火災 統計二百八十三箇所、千八百七十八戸、一萬七千二百坪五夕

ノ内、重ナル者左ノ如シ。

一、二月廿七日火災 八、

月 日	發火時間	風勢	火地名姓名	起火原因	燒失家屋區分	合戸數	合坪數	燒失家屋概價	死傷
廿七日	發火 午後七時	西北	淺草區馬道町四丁目	取灰	瓦平家全燒 一戸	二百卅	千八百八十五	一萬六千六百	消防官一人 機關手一人 消防組八人
〇明治廿八年二月	鎮火 四十分	風稍強	日三丁目 地平民味 增商太田	取灰	土藏平家類燒 一棟 瓦平家類燒 一棟 同二階家類燒 四十六戸 同二階家類燒 四十六戸 金屬平家類燒 六十一戸 板平家類燒 四十四戸 同二階家類燒 四十三戸	二百卅	三坪三合	八圓五十三錢	八消防組八人

消防本署火災報告

區内淺草馬道町四丁目廿二番地平民齋油味噌渡世太田久七方ヨリ、去ル廿七日午後八時頃出火、燒失家屋百貳棟、同土藏貳棟、物置四棟、稻荷土藏壹棟半、燒拾參棟、合計百貳拾貳棟ニシテ、同日午後十時三十分頃鎮火致候。其出火原因過失ニテ、且其際同町同番地平民大橋豐吉天保十一年十二月生ナル者、頭部并ニ四肢等へ火傷シ、同番地小林兼次郎及妻々し兩名ハ、兼テ養育院へ入院出願中之處、兼次郎左眼へ火傷シ、何レモ差向可引取緣故之者無之ニ付、養育院へ送付入院爲致候條、燒失場圖面(〇略)相添、此段及御届候也。

明治廿八年三月一日

東京市淺草區長 杉本 嘉兵衛

東京府知事 三浦 安殿

東京府第一課文書類別 〇官報同。

〔參考〕東京府第一課文書類別ニ救恤ノ事見ユ。

容月廿七日當區淺草馬道町四丁目廿二番地平民太田久七方ヨリ出火、羅災ノ窮民救助トシテ、有志者ヨリ合金九百七拾參圓參拾錢、施與相成候處、之レニ對スル救助ノ請求アリタル戸數壹百八十戸、人員六百四拾壹人ニ配當金、別紙(〇略)之割合ニ有之、則明後十五日受救者へ下渡スベク候條、此段及上申也。

明治廿八年三月十三日

東京市淺草區長 杉本 嘉兵衛

東京府知事 三浦 安殿

帝都時代ノ火災

二、三月廿九日火災

月日	廿九日 明治廿八年三月廿九日
發火時間	發火時間 前零時四十分
風勢	南風 強
火地名姓名	麴町區麴六丁目 町四丁目 六番地 民大職 瀧上七兵衛
火起原由	ランプ
燒失家屋區分	五平全 瓦平家類 同二階家 金屬平家 同二階家
燒失家屋區分	燒燒 卅三、半 十五、半 四十四戶
合戶數	七十
合坪數	千八百六十七
燒失家屋概價	一萬九千九百五十七圓
死傷	傷關手 二機 七消防組

消防本署火災報告

本區麴町四丁目六番地瀧上七兵衛方ヨリ今零時四十分出火、全燒六十七戶、半燒九戶、同午前三時三十五分鎮火、人畜死傷等無之候條、不取敢、此段上申候也。

明治廿八年三月廿九日

東京市麴町區長 富士 重本

東京府知事 三浦 安殿

東京府第一課文書類別 報同。

〔參考〕東京府第一課文書類別ニ據ル。

明治廿八年三月廿九日、本區麴町四丁目六番地瀧上七兵衛方ヨリ出火ニ付、罹災困難者ヘ對シ、巖谷修外拾貳名ヨリ金百六十圓拾四錢寄贈有之候ニ付、右救助スヘキ分調査候處、總戶數四十五戶、總人員百六拾七名ニシテ、全燒者ヘハ戶別金壹圓五十錢、及人口救助トシテ金參拾參錢六厘ツ、ノ割合ヲ以テ、明治十七年二月十九日付内達ニ基キ、救

助方取計候條、此段及ニ具狀候也。

明治二十八年四月廿三日

東京府知事 三浦 安殿

東京市麴町區長 富士 重本

三、四月十九日火災

消防本署火災報告ニ見ユ。

月日	十九日 明治廿九年四月十九日
發火時間	發火時間 午後七時
風勢	北東 風弱
火地名姓名	下谷區二丁目五番地 長六平 民雜業石 川サト
火起原由	燈火
燒失家屋區分	板平全 瓦平家類 同二階家 金屬平家
燒失家屋區分	燒燒 一 十五 九十五戶
合戶數	八十
合坪數	五百八十八
燒失家屋概價	三千五百七十圓
死傷	傷關手 三機 四消防組

〔附起〕東京府第一課文書類別ニ據ル。

區内向柳原町貳丁目壹番地平民數渡世安川安五郎方ヨリ、昨三十日午前第四時頃出火、全燒四拾戶、半燒三戶ニシテ、同日午前五時過鎮火致候。其出火原因取調候處、過失之趣、且死傷人等無之候條、別紙圖面(○)略相添、此段及ニ御届候也。

明治廿八年五月一日

東京市知事 三浦 安殿

東京市淺草區長 杉本 嘉兵衛

本日午前二時二十分、當區大和町十八番地菓子商田中勝次郎方菓子製造ホイロヨリ失火致シ、拾三番地ヨリ廿番地迄、廿七番地ヨリ廿九番地迄延燒、午前四時鎮火致候間、左記之通取調、不取敢、此段及ニ上申候也。

一、全燒戶數
一、半燒戶數

三拾七戶。
拾五戶。

帝都時代ノ火災

一、燒死人

神田區大和町十八番地田中勝太郎方同居

同田中勝太郎方雇人

高橋助次郎

小熊よね

明治廿八年五月九日

東京府知事 三浦安殿

東京市神田區長 澤簡德

四、十一月廿七日日災

十一月廿七日火災

月日	發火時間	風勢	火地名姓名	火起原因	燒失家屋區分	合戶數	合坪數	燒失家屋概價	死傷
廿七日	午前三時	西北	下谷區上野町二丁目	火鉢	板平家全燒	一戶	五百二	八千四	傷關手
○明治廿八年十一月	午後三時十分	風弱	野三番地	火鉢	瓦平家類燒	十五戶	五百二	百六十	傷關手
廿八年十一月	同四時三十分	風弱	日三番地	火鉢	同二階家	廿二、半四戶	十七坪	六圓	三消防組人
一月	同四時三十分	風弱	助商小澤良	火鉢	同二階家	一戶	十七坪	六圓	三消防組人

消防本署火災報告

近火御届

當區役所ニ接近セル下谷町二丁目參番地ヨリ、今朝二時卅分出火、戶數凡六拾戶餘燒失、同四時鎮火ニ候付、此段不取敢及御届候也。

明治廿八年十一月廿七日

東京市下谷區長 辻吉亨

東京市參事會

東京府知事 三浦安殿

東京府第一課文書類別 報○官

〔參考〕東京府第一課文書類別ニ、

出火罹災窮民へ寄贈金配付濟御届

本年十一月廿七日當區下谷町貳丁目三番地ヨリ出火、罹災窮民へ守田重兵衛外拾壹名ヨリ寄贈金、別紙ノ通(○略)配付致候、此段及御届候也。

明治廿八年十二月十三日

東京市下谷區長 辻吉亨

東京府知事 三浦安殿

五、十二月十二日日災

十二月十二日日災

月日	發火時間	風勢	火地名姓名	火起原因	燒失家屋區分	合戶數	合坪數	燒失家屋概價	死傷
十二月	午後二時	西南	芝區金杉三丁目十番地平民	火鉢	板平家全燒	一戶	八百八	七萬三	傷關手
○明治廿八年十二月	同五時	風弱	藥種商增田平之助	火鉢	同二階家	十七、半一戶	三坪	百九十五	三消防組人
廿八年十二月	同五時	風弱	同	火鉢	同二階家	十七、半一戶	三坪	百九十五	三消防組人
二月	同五時	風弱	同	火鉢	同二階家	十七、半一戶	三坪	百九十五	三消防組人

消防本署火災報告

昨十二日午後二時二十五分、當區芝區金杉四丁目ヨリ出火、延燒町名、其他取調候處左ノ通リニ候條、此段及御報告候也。

帝都時代ノ火災

明治廿八年十二月十三日

東京市芝區長

川崎實

實

東京府知事 三浦安殿

- 一、芝金杉壺丁目廿三番地ヨリ廿四番地迄。一、同貳丁目三番地ヨリ三十四番地迄。
- 一、同三丁目全部。一、同四丁目壹番地ヨリ六番地迄、廿番地ヨリ廿七番地ニ至ル。
- 一、芝金杉川口町六番地ヨリ廿七番地迄。一、芝金杉濱町壹番地ヨリ廿一番地迄、五十六番地ヨリ七十二番地ニ至ル。一、芝西應寺町十五番地。一、芝新堀町十五番地。
- 一、全燒八百二十三戸。一、半燒四十四戸。一、土藏 六棟。一、物置 拾七ヶ所。一、代用私立里見小學校全燒。一、寺院 九ヶ寺。一、同表門 壹ヶ所。一、電柱 七基。
- 一、郵便箱 壹個。一、火元原因等ハ目下取調中。一、人畜死傷無之候。

東京府第一課文書類別

〔參考〕東京府第一課文書類別ニ、

芝區金杉町火災ニ付、罹災人民困難ノ趣憫然ニ被思召、聖上 皇后兩陛下ヨリ、金八百圓下賜相成候ニ付、救恤方可然御取計相成度、依命此段及通達候也。

明治廿八年十二月廿日

東京府内務部長 山縣伊三郎

東京市芝區長 川崎實殿

附記
明治廿八

〔附記〕

官報ニ據レバ、明治廿八年十二月十二日ニハ、京橋區本八町堀一町

年十二月
十二日火
災

目ニモ火有リ、全燒四十九戸、半燒廿八戸ヲ出シタリ。東京府第一課文書類別亦

區内出火届

本日午前二時、本區本八丁堀壺丁目拾六番地花木平六方ヨリ出火シ、同町拾七番地及松屋町三丁目九、八、七、六、五番地へ延燒、同四時鎮火候條、不取敢此段及御届候也。

明治廿八年十二月十二日

東京市京橋區長 大森敬之

東京府知事 三浦安殿

官報ニ、

昨七日(○明治廿九年二月)午前三時十三分、深川區富岡門前町三十一番地ヨリ出火、全燒三十二戸、半燒五戸。
一昨十日(○明治廿九年二月)午前零時五分、京橋區南小田原町四丁目八番地工手學校ヨリ出火、同校燒失、原因過失ナリ。

廿九年(○明治○紀元)三月十七日、芝區琴平町(○市)火有リ。○消防本署火災報告官報。

四月十日(○明治廿九年(紀元)四月)淺草公園地(○市)内失火、百八十六戸、一萬三百二坪餘燒ク。○消防本署火災報告。十七日(○明治廿九年(紀元)四月)芝區日蔭町一丁目

内(○市)火有リ。○消防本署火災報告。廿五日(○明治廿九年(紀元)四月)下谷區西黑門町(○市)

帝都時代ノ火災

一二四一

年明治廿九
二月火
災

明治廿九年
三月十七
日火災
四月十日
火災
四月十七
日火災
四月廿五
日火災

四月廿五日火災

四、四月廿五日火災 消防本署火災報告ヲ左ニ抄出ス。官報ハ家屋全焼七十八戸、半焼十一戸ト記ス。

月日	鎮火時間	風勢	元地名姓名	火起原因	焼失家屋區分	合戸數	合坪數	焼失家屋概價	死傷
廿五日 (○)明治廿九年四月	午前一時四十五分 鎮火 同三時三十分	南東 風強	下谷區西 黒門町廿 三番地平 民下宿業 赤菽ミチ	不審火	瓦二階家全焼 瓦平家類焼 廿五半五戸 同二階家 十二半二戸 金屬平家 一戸 板平家 廿六半三戸 同二階家 一戸	七十六	千二百四十九坪	一萬一千〇廿五圓	傷 機關手 三人 消防組 三人

〔附記〕 消防本署火災報告ニ、明治廿九年八月十八日豊多摩郡内藤新宿町

附記
明治廿九年八月後

二百四十六戸、二千五百廿五坪、概價二萬二百圓ノ焼失ヲ記ス。官報ニハ、昨八日(○)明治廿九年十二月) 午前四時三十分、京橋區銀座一丁目十番地ヨリ出火、全焼勸工場一棟、半焼二戸、原因詳ナラス。一昨十三日(○)明治廿九年十二月) 午後十時四十五分、本郷區駒込蓬萊町二十八番地郁文館ヨリ出火、全焼五棟、半焼二戸、物置一棟焼失。原因詳ナラス。

十二月廿九日火災

五、十二月廿九日火災 八、

月日	鎮火時間	風勢	元地名姓名	火起原因	焼失家屋區分	合戸數	合坪數	焼失家屋概價	死傷
廿九日 (○)明治廿九年十二月	午後七時三十五分 鎮火 同十時	西北 風強	神田區松 住町十番 地平民薪 炭商長尾 彌兵衛	不審火	瓦平家全焼 瓦平家類焼 十二半四戸 同二階家 九半三戸 金屬平家 廿四半三戸 板平家 同二階家	六十九	九百六十八坪 二合	一萬四千八百圓	傷 機關手 四人 消防組 十二人

消防本署火災報告

官報ニハ、全焼六十戸、半焼十二戸、納屋二棟焼失ト有リ。

明治卅年火災

卅年 ○明治○紀元 二月十一日、四谷區傳馬町一丁目_内市 火有リ。

○消防本署火災報告。官報。三月一日_元○明治卅年(紀元) 深川區富岡門前山本町_内市 火ヲ失シ、九十六戸、千十五坪餘焼亡ス。○消防本署火災報告。官報。十日_元○明治卅年(紀元) 三月十五日火災

下谷區南稻荷町_内市 火有リ。○消防本署火災報告。官報。十五日_元○明治卅年(紀元) 三月十五日火災

草區新吉原角町_内市 失火ス。焼失百六十五戸、三千七百六十

三坪餘也。○消防本署火災報告。官報。五月廿一日_元○明治卅年(紀元) 五月廿一日_元○明治卅年(紀元) 京橋區築地二丁目

○市 火有リ。○消防本署火災報告。官報。十月卅日_元○明治卅年(紀元) 淺草區田町一丁目

帝都時代ノ火災

十二月二日火災
十二月六日火災
十二月廿七日火災

○市 火有り。○消防本署火災報告。官報。十二月二日。元○明治卅年(紀元二五五七年) 本郷區湯島新花町内。○市 火有り。○消防本署火災報告。官報。六月五日。○明治卅年(紀元二五五七年)十二月。火有ル兩度、午前二時廿五分ヨリ神田區東龍閑町内。○市 燒ケ、午前三時十五分ヨリ深川區東元町内。○市 燒ク。○消防本署火災報告。官報。廿七日。○明治卅年(紀元二五五七年)十二月。下谷區三ノ輪町内。○市 燒ク。○消防本署火災報告。官報。

明治卅年火災事蹟

二月十一日火災

明治卅年火災 總計二百七十九箇所、千二百七十八戸、二萬七百十五坪五合五勺中、重ナル火災十回有リ。即チ左ノ如シ。
一、二月十一日火災 消防本署火災報告ヲ按スルニ、

月日	鎮火時間	風勢	火地名姓名	火起原由	燒失家屋區分	合戸數	合坪數	燒失家屋概價	死傷
十一月十一日 (○明治卅年二月)	午前四時四十分 鎮火四十分	北風弱	四谷區傳馬町一丁目十八番 地豆商菅原ミノ	爐	瓦平家全燒 瓦平家類燒 同二階家十五、半一戸 金屬平家四十三、半一戸 板平家四十一、半八戸 同二階家土藏二六七戸	八十一	九百四十七坪 六合一勺	二萬四千四百七十三圓 六十錢	傷一機關手 防消組二人

而シテ是時家屋全燒六十四戸、土藏一棟、半燒十八、土藏一棟ノ損害有リタリ

三月一日火災

トハ官報ノ報スル所也。
二、三月一日火災 傳フル左ノ如シ。

月日	鎮火時間	風勢	火地名姓名	火起原由	燒失家屋區分	合戸數	合坪數	燒失家屋概價	死傷
一月一日 (○明治卅年三月)	午後八時五十分 鎮火三十分	北東風弱	深川區富岡門前山本町一番 地麵包商中田豐吉	火鉢	瓦二階家全燒 瓦平家類燒 同二階家十、半五戸 金屬平家八、半八戸 同二階家四戸 板平家四十一、半八戸 同二階家一戸	九十六	千五百三十五坪 二勺	一萬二千四百八圓 五錢	傷一機關手 深防組一人

消防本署火災報告

東京日々新聞ニ據レバ、此時燒失シタルハ富岡門前山本町ヨリ蛤町二丁目ニ亘リタル者ノ如シ。

〔附記〕 官報ニ、

同日(○明治三十年三月五日)。午後十一時十分、小石川區指ヶ谷町二十八番地蓮華寺ヨリ出火、全燒一戸。

三、三月十日火災 傳フル所左ノ如シ。

帝都時代ノ火災

失ナリ。

官報

附記

明治卅年六月火災

十月卅日火災

六、十月卅日火災 消防本署火災報告ヲ抄ス。官報ニハ全燒三十三戸、半燒十五戸。

一昨日(○明治三十年六月)午後五時九分、四谷區大番町七十三番地陸軍輜重廠工場ヨリ出火、一棟燒失、原因過失ナリ。

月日	鎮火時間	風勢	元地名姓名	火起原因	燒失家屋區分	合戶數	合坪數	燒失家屋概價	死傷
卅〇年十月卅日	午前四時十分	北風弱	淺草區田五町一丁目	燈火	瓦二階家類全燒 一戸	五	九百五	四千八百圓	死傷
卅〇年十月卅日	午前四時十分	北風弱	同上	燈火	瓦二階家類全燒 一戸	五	九百五	四千八百圓	死傷
卅〇年十月卅日	午前四時十分	北風弱	同上	燈火	瓦二階家類全燒 一戸	五	九百五	四千八百圓	死傷
卅〇年十月卅日	午前四時十分	北風弱	同上	燈火	瓦二階家類全燒 一戸	五	九百五	四千八百圓	死傷

〔附記〕 官報ニ、

昨十五日(○明治三十年十一月)午前一時三十分、四谷區麴町十二丁目四番地ヨリ出火、全燒二十一戸、半燒二戸、燒死者三人アリ。出火ノ原因過失ナリ。

七、十二月二日火災 官報ニ是災家屋五十二戸ヲ全燒シ、四戸ヲ半燒スト記ス。消防本署火災報告ニハ、

月日	鎮火時間	風勢	元地名姓名	火起原因	燒失家屋區分	合戶數	合坪數	燒失家屋概價	死傷
〇二〇年十二月二日	午前三時五十分	北風弱	本郷區湯島新地	竈	瓦平房家類全燒 一戸	五	六百六	一萬七	傷
〇二〇年十二月二日	午前三時五十分	北風弱	同上	竈	瓦平房家類全燒 一戸	五	六百六	一萬七	傷
〇二〇年十二月二日	午前三時五十分	北風弱	同上	竈	瓦平房家類全燒 一戸	五	六百六	一萬七	傷
〇二〇年十二月二日	午前三時五十分	北風弱	同上	竈	瓦平房家類全燒 一戸	五	六百六	一萬七	傷

八、十二月六日火災 兩度有リ。一ハ、消防本署火災報告ニ、

月日	鎮火時間	風勢	元地名姓名	火起原因	燒失家屋區分	合戶數	合坪數	燒失家屋概價	死傷
〇六〇年十二月六日	午前二時三十分	北風弱	神田區東龍岡	竈	瓦平房家類全燒 一戸	三	六百八	一萬八	傷
〇六〇年十二月六日	午前二時三十分	北風弱	同上	竈	瓦平房家類全燒 一戸	三	六百八	一萬八	傷
〇六〇年十二月六日	午前二時三十分	北風弱	同上	竈	瓦平房家類全燒 一戸	三	六百八	一萬八	傷
〇六〇年十二月六日	午前二時三十分	北風弱	同上	竈	瓦平房家類全燒 一戸	三	六百八	一萬八	傷

官報ニハ、全燒三十五戸、半燒九戸ト有リ。一ハ、消防本署火災報告ニ、

月日	鎮火時間	風勢	元地名姓名	火起原因	燒失家屋區分	合戶數	合坪數	燒失家屋概價	死傷
〇六〇年十二月六日	午前三時十五分	西北風弱	深川區東元町一番	竈	瓦二階家類全燒 一戸	八	八百十	一萬六	傷
〇六〇年十二月六日	午前三時十五分	西北風弱	同上	竈	瓦二階家類全燒 一戸	八	八百十	一萬六	傷
〇六〇年十二月六日	午前三時十五分	西北風弱	同上	竈	瓦二階家類全燒 一戸	八	八百十	一萬六	傷
〇六〇年十二月六日	午前三時十五分	西北風弱	同上	竈	瓦二階家類全燒 一戸	八	八百十	一萬六	傷

帝都時代ノ火災

十二月六日火災

十二月廿七日火災

官報ニハ、全燒七十一戸半燒十二戸ト見ユ。
九、十二月廿七日火災 八、

月日	發火時間	風勢	火地名姓名	火起原由	燒失家屋區分	合戶數	合坪數	燒失家屋概價	死傷
廿七日 ○明治 卅年十二 月	發火一 時四十分 鐘 午後二時 五十分	西北 風強	下谷區三 ノ輪町十 番地青物 商中西忠 次郎	竈	瓦平家全燒 瓦平家類燒 瓦平家五十一、半六 同平家八戸 板二階家 茅二階家 瓦二階土藏	一戸 十六戸 十八戸 一戸 棟	二百二 十四坪 二合	一萬七 千六百 六十八 圓八 厘	傷 機關手 一人

消防本署火災報告

昨三十年十二月二十七日午後一時四十分下谷區三輪町十番地ヨリ出火、全燒八十四戸、物置二棟、半燒十戸、同二時五十分鎮火、原因過失ナリ。

官報

此時、三ノ輪町、金杉下町等延燒シタルコト、東京日々新聞ニ見ユ。

明治卅一年
一月三日
火災
二月廿六
日火災
三月廿二
日火災

卅一年 〇明治 〇紀元
一月三日 下谷區東黑門町 〇市 火ヲ失シ、附近
ヲ燒ク。 〇消防本署火 二月廿六日 〇明治卅一年(紀
災報告官報。 元二五五八年) 淺草區元鳥越町 〇市
火有リ。 〇消防本署火 三月廿二日 〇明治卅一年(紀
災報告官報。 元二五五八年) 京橋區南小田原町一

三月廿三日火災

丁目 〇市 火有リ。 〇消防本署火 廿三日 〇明治卅一年(紀元
内。 出火、千四百七十八戸、一万三千二百二坪餘ヲ燒盡ス、重ナル
本郷區春木町

被害建築物ニ神社、學校、會堂、劇場、寄席、勸工場等有リ。 〇消防本署火
廿五日 〇明治卅一年(紀元 湯島天神町 〇市内 燒ク。燒失百五十一戸、千
五百六十一坪餘。 〇消防本署火 四月七日 〇明治卅一年(紀
災報告官報。 元二五五八年) 淺草區新吉原

三月廿五日火災
四月七日火災
四月廿日火災

京町一丁目 〇市 火ヲ夫ス、類燒有リ。 〇消防本署
下谷區坂本町三丁目 〇市 火有リ、四百廿八戸、四千五十七坪餘
燒失ス。 〇消防本署 五月十五日 〇明治卅一年(紀
災報告。 元二五五八年) 京橋區木挽町八丁目

五月十五日火災
六月九日火災
七月廿三日火災

〇市 遞信省燒ク。 〇消防本署火 六月九日 〇明治卅一年(紀
内。 火有リ。 〇消防本署 七月廿三日 〇明治卅一年(紀
災報告。 元二五五八年) 京橋區大鋸町二
丁目 〇市 燒ク。 〇消防本署

明治卅一年
火災事蹟

明治卅一年火災 總計三百七箇所三千五百八十二戸、三萬八千六百六十五坪六

一月三日火災

合八勺ノ内、左ニ重ナル火災十回ヲ舉グ。
一、一月三日火災 八、

帝都時代ノ火災

話及電燈柱三十一本燒失、同六時三十分鎮火。原因放火、男二人燒死セリ。

官報

〔參考〕 江戸の花

報所收。二六、

卅一年三月廿三日午前二時廿五分本郷區春木町二丁目五十五番地なる同町一丁目廿二番地漬物商横枕昇太郎所有の物置より出火せしが、適々東北の風強く、火は猛烈の勢を以て焼け進みたるに、折悪しく各所の消防組は、上野櫻木町の火事場に馳集り居りし事とて、いづれも後れ馳せに駆け來り、消防意の如くならず、火勢愈募りて遂に近年稀なる大火となりたり。今其詳細を左に列記せむに、火は西北に燃え廣がり、東は金助町春木座の横手より湯島六丁目、南は順天堂病院の裏手より、東竹町、西竹町を蕩盡し、西は本郷一丁目、元町二丁目まで延焼し、金助町は片側四十五番地の酒屋の土藏にて止り、湯島六丁目の通りは、牛肉店江知勝の煉瓦家と其向側の藏造にて止り、本郷元町の方は、三念寺の墓場及び水道給水工場にて止り、三丁目にて止り、本郷二丁目は、佐々木藥店並に向側三丁目角にて止り、二丁目裏は元町二丁目の角蕎麥屋の所にて止り、同六時に至りて漸く鎮火したり。燒失せし戸數は實に八千四百七十八戸なり。其の重なる建物は、劇場春木座を始め、東竹町の基督教會堂及び寄席若竹亭、勸工場信富館等とす。又電話柱十八本、電燈柱八本、巡查派出所一ヶ所も燒失したり。乃ち罹災者救恤所を區役所の二階に設けられ、掛員數名炊き出しに従事せり。此火災に際し、第一著に馳付けしは、消防第四分署萬世橋派出所の蒸氣唧筒にて、三時十分下谷區上野櫻木町の火災場より引上げ、上野に來りし際、春木川上水に据付けしも、水利不便の爲め、本郷二丁目に轉じたり。又淺草橋の蒸氣唧筒は、同五丁目据付け、鵜殼町の蒸氣唧筒は、四丁目角に備へ付け、いづれも必死となりて消防に盡力中、又々水利不便に因り、萬世橋隊は更に本郷元町二丁目六番地先に轉じ、鵜殼町隊は湯島順天堂角より下水を使用し、淺草橋蒸氣唧筒に接續したり。斯る大火となりしは、全く水利不便の爲なるべし。消防夫の指を折り足を挫く等微傷を負ひたるもの無數なるが、中にも重傷を受けたる者は、第一分署にて二名、第二分署にて二名、第四分署にて一名、第五分署にて一名、都合六名なり。本郷分署長古閑膽治氏も春木座内に於て消防を指揮し居りし際、火焔に包まれて三階の窓より飛降り負傷したり。又蒸氣唧筒消防夫は、非番機關士一名、機關手七名、當番機關士一名、機關手三名、都合十二名、重傷を負ひ、機關手福井留吉といふは、四時五十分東竹町にて消防に盡力中、落ち來りし梁に背を打たれ、其揚に倒れたるが、餘程重傷なりしといふ。又燒死せしは、東京火災保險會社の消防夫若井安太郎と春木町二丁目四十一番地正木龜吉の二人なりき。

三月廿五日火災

五、三月廿五日火災

ハ、

本月〇明治卅一年三月二十五日午後十一時十五分、本郷區湯島天神町三丁目十五番地ヨリ出火、全燒百三十七戸、物置一棟、半燒十五戸、非常報知柱及電話柱三本燒失。翌二十六日午前零時五十三分鎮火、原因過失ナリ。

官報

月日	廿五日
鎮火時間	午後十一時五十三分
風勢	北風
元地名姓名	本郷區湯島天神町三丁目十五番地
火起原因	火鉢
燒失家屋區分	瓦平家全燒 一百五十一戸
合坪數	五千五百七十一坪
燒失家屋概價	二萬九千四百十九圓
死傷	傷關人手三、消防人手五

帝都時代ノ火災

一二五七

六月九日
火災

電氣試験所二棟、便所三棟、全燒、事務室一棟、電務局、監查局、巡視詰所一棟、物置一棟、半燒、同六時十五分鎮火。原因詳ナラズ。
官報

七月廿三日
火災

ト有リ。官報ハ全燒卅一戸、半燒十七戸トス。
十、七月廿三日火災 消防本署火災報告左ノ如シ。

月日	發火時間	風勢	火地名姓名	火起原因	燒失家屋區分	合戶數	合坪數	燒失家屋概價	死傷
九月廿六日 明治廿一年	午後五時十分 發火	南東	京橋區大藏	ランブ	瓦平家全燒 瓦平家類燒 同二階家 同二階家	五十一戸	五百二十三坪	九千四百四十圓	傷二機 傷關手 十消防人

明治廿一年十二月
火災

附記 官報ニ、
一昨二十四日(明治廿一年十二月)午前一時十分、京橋區八町堀岡崎町一丁目四十九番地ヨリ出火、全燒四十一戸、半燒二十四戸、同二時二十分鎮火。原因過失ナリ(消防

月日	發火時間	風勢	火地名姓名	火起原因	燒失家屋區分	合戶數	合坪數	燒失家屋概價	死傷
三月廿三日 明治廿二年	午後八時 發火	南西	日本橋區小舟町二丁目九番	吸煙	瓦二階家全燒 瓦平家類燒 同二階家 瓦平土藏	四十一戸	五百廿七坪	二萬八千四百四十圓	傷二機 傷關手 六消防人

明治廿二年三月
火災

防本署火災報告ニハ、燒失六十六戸、三百卅二坪一合六勺概價二百六十四圓、負傷機關手一人、消防組四人ト有リ。
昨十三日(明治廿二年三月)午前二時十分、淺草區小島町七十三番地ヨリ出火、全燒二十八戸、半燒十一戸、半舍既各一棟燒失、畜牛十頭燒死、原因過失ナリ。

明治廿二年三月廿四日
火災

卅二年 三月廿四日藏前片町 東京工業學校火
ヲ失ス。官報 八月十七日 京橋區越前堀 火有リ。

明治廿二年八月廿三日
火災

官報 消防本署火災報告 廿三日 深川區冬木町 火有リ。

明治廿二年十一月五日
火災

官報 十一月廿五日 芝區新堀町 火有リ。

明治廿二年三月廿日
火災

明治廿二年火災 是年ニ於ケル市内火災總計二百四箇所、六百十八戸、八千六百四十坪九合六勺ノ内重ナル者左ノ如シ。
一、三月廿四日火災 官報ニ據ル。

明治廿二年八月十七日
火災

同明治廿二年三月 二十四日午前一時五十五分、淺草區藏前片町東京工業學校ヨリ出火、全燒物置一棟、工場四棟、原因過失ナリ。

明治廿二年八月十七日
火災

二、八月十七日火災 消防本署火災報告左ノ如シ。官報ハ全燒九十七戸、半燒十五戸トス。

八月廿三日火災

三、八月廿三日火災 消防本署火災報告ニ據レバ、

月日	鎮火時間	風勢	火地名姓名	火起原因	燒失家屋區分	合戶數	合坪數	燒失家屋概價	死傷
明治廿二年八月十七日	午前三時五分	南風	京橋區越前堀一丁目	洋燈	燒失家屋區分	百四戶	八百四十二坪	一萬九千九百九十五圓	傷二機關手 死六消防組 民一人
明治廿二年八月十八日	午前四時三十分	弱南風	目一番地	洋燈	燒失家屋區分	廿七、半三棟	十二坪	千九百九十五圓	傷二機關手 死六消防組 民一人
明治廿二年八月十九日	午前四時三十分	弱南風	竹次郎	洋燈	燒失家屋區分	廿六、半三棟	五合八	九百九十五圓	傷二機關手 死六消防組 民一人

附記

明治廿二年八月廿七日火災

十一月廿五日火災

〔附記〕 官報ニ、

一昨二十七日(○)明治廿二年八月(午)前一時四十五分深川區御船藏前町十七番地ヨリ出火、全燒住屋四十三戶、工場二棟、半燒住屋九戶、工場二棟、同二時十分鎮火。原因詳ナラス。

一昨七日(○)明治廿二年十一月(午)後九時二十分、東京市本所區永倉町一番地本所學校ヨリ出火。全燒五棟、住屋半燒一戶、同十時鎮火。原因詳ナラス。

四、十一月廿五日火災 消防本署火災報告ニ據レバ、

月日	鎮火時間	風勢	火地名姓名	火起原因	燒失家屋區分	合戶數	合坪數	燒失家屋概價	死傷
明治廿二年八月廿三日	午前十一時五分	南風	深川區冬木町十一番地	焚火	燒失家屋區分	六戶	五百二十一坪	一萬八千六百十八圓	傷二機關手 死六消防組 民一人
明治廿二年八月廿三日	午後三時	強南風	津濱之助	焚火	燒失家屋區分	一、半一棟	三合	十八圓	傷二機關手 死六消防組 民一人

附記

明治廿三年一月火災

明治廿三年火災

明治廿三年火災事蹟

〔附記〕 官報ヲ抄ス、

本月一日(○)明治廿三年一月(午)後九時、荏原郡品川町字步行新宿九十八番地ヨリ出火、全燒三十五戶、半燒一戶、同十一時鎮火。原因詳ナラス。

廿三年(○)明治(○)紀元十一月十八日深川區東町(○)市火有り。○消防本署

明治廿三年火災 總計三百一十一箇所、四百四十二戶、八千三百八十五坪二合九

勺中、左ノ火災ヲ重ナルモノトス。

月日	鎮火時間	風勢	火地名姓名	火起原因	燒失家屋區分	合戶數	合坪數	燒失家屋概價	死傷
明治廿二年十一月廿五日	午前四時		芝區新堀	灰	燒失家屋區分	全九十四棟	五二七坪	一、〇一三圓	死傷
明治廿二年十一月廿五日	午前六時		炭物見	灰	燒失家屋區分	全一棟	四坪	五八八圓	死傷
明治廿二年十一月廿五日	午前六時		和	灰	燒失家屋區分	全一棟	四坪	五八八圓	死傷

月日	鎮火時間	風勢	火地名姓名	火起原因	燒失家屋區分	合戶數	合坪數	燒失家屋概價	死傷
明治廿三年一月十八日	午前二時		深川區東町五番地	吸煙	燒失家屋區分	全一棟	二〇三坪	五、七五三、六圓	傷二消防組 死一人
明治廿三年一月十八日	午前四時		安田合資會社製釘場	工場	燒失家屋區分	半三棟	一〇三坪	五、七五三、六圓	傷二消防組 死一人

消防本署火災原簿○官報同。

〔附記〕 消防本署火災原簿ニ據レバ、明治廿四年一月十六日京橋區尾張町

帝都時代ノ火災

明治卅四年
一月火災

東京市史稿

一二六四

二丁目大和新聞社燒ケ、全燒一戶、半燒二戶、坪數四百五十四坪、概價一萬六千七百圓ヲ燒失スルコト見ユ。

明治卅四年
一月廿九日火災

卅四年○明治○紀元 一月廿九日、神田區和泉町○市 東京帝國大學

明治卅四年
一月廿九日火災

○消防本署火災原簿。官報。十二月五日、(紀元二五六一)年

明治卅四年
二月火災

○消防本署火災原簿。官報。十二月五日、(紀元二五六一)年

○消防本署火災原簿。官報。十二月五日、(紀元二五六一)年

明治卅四年
火災事蹟

○消防本署火災原簿。官報。十二月五日、(紀元二五六一)年

明治卅四年
一月廿九日火災

○消防本署火災原簿。官報。十二月五日、(紀元二五六一)年

月日	發火時間	風勢	火地名姓名	火起原因	燒失家屋區分	合戶數	合坪數	燒失家屋概價	死傷
廿九日 ○明治 卅四年 一月	發火 前六時 十分		神田區 和泉町 第一番 地		木造瓦 全燒 病院 半燒 土藏 倉庫 燒	三棟	三一〇、〇〇〇坪	二、九三〇、〇〇〇圓	

消防本署火災原簿

附記

明治卅四年
二月後
火災

明治卅四年
二月
火災

去月二十九日○明治卅四年一月。午前六時四十分、神田區和泉町一番地東京帝國大學醫科大學附屬第二醫院ヨリ出火、全燒半燒各三棟、土藏半燒一棟、燒死者男六人、女十一人、男女不明者二人、負傷者男女各一人、原因過失。——官報

〔附記〕 官報ニ據レバ、左ノ如シ。

二十一日○明治卅四年二月。午前一時三十分、南足立郡千住三町、自六番地ヨリ出火、全燒七十三戶、半燒四戶、電柱五本燒失、同五時鎮火。原因過失ナリ。
昨日(十四日)○明治卅四年三月。午前九時五十五分、豐多摩郡戶塚村大字下戶塚七拾番地、地伯爵大隈重信邸ヨリ出火、全燒一戶、同十時三十二分鎮火。原因過失ナリ。

二十二月五日火災 左ノ如シ。

月日	發火時間	風勢	火地名姓名	火起原因	燒失家屋區分	合戶數	合坪數	燒失家屋概價	死傷
五日 ○明治 卅四年 二月	發火 午後十時 十分		神田區 西小川 町一 番地		土藏 全燒 倉庫 燒 木造瓦 半燒 學校 燒 木造瓦 住家 燒 木造瓦 住家 燒	五棟 五棟 三棟	六、〇〇〇坪	二、七五〇、〇〇〇圓	

消防本署火災原簿

六日○明治卅四年二月。午後十時十分、東京市神田區西小川町一丁目十五番地ヨリ出火、全燒校舍三棟、土藏一棟、家屋七戶、半燒校舍一棟、家屋三戶、同十一時二十帝都時代ノ火災

一二六五

月日	發火時間	風勢	元地名姓名	火起原由	燒失家屋區分	合戶數	合坪數	燒失家屋概價	死傷
十月廿五日 明治五年	午前三時 鎮火十分		深川區西平井町七番地 下井角次	不明	木造板柿平家 住物置 瓦金屬 全八棟 全二棟 全廿七棟 半三棟	全八十 九戶 半九戶	一八、二八坪 一、七三、三〇〇	五〇〇、八二、一九五、二五〇	

消防本署火災原簿

昨日 五月廿三日 三時四十五分、深川區西平井町七番地ヨリ出火、全燒八十九戶、半燒九戶、原因詳ナラズ。
官報

トス。東京日々新聞ニ據レバ、此外神社一ヶ所、電話柱三本、電燈柱一本、非常電信柱一本燒失スト云フ。

〔附記〕 官報ニ、

二十五日(○)明治廿五年五月午前二時二十五分、東京市麴町區飯田町五丁目八番地國學院教場ノ事務室ヨリ出火、該教場一棟燒失、同三時二十分鎮火。原因過失ナリ。

廿六年 四月六日、神田三崎町三丁目(○)市劇場改良座燒ク。○消防本署火災原簿。

明治廿六年火災 總計五百二箇所、四百廿七戶、六千四百五十四坪一合七勺中、左ノ火災ヲ重ナル者トス。

明治廿五年五月火災
明治廿六年火災
明治廿六年火災事蹟

月日	發火時間	風勢	元地名姓名	火起原由	燒失家屋區分	合戶數	合坪數	燒失家屋概價	死傷
六月廿六日 明治廿六年	午前三時 鎮火四十分		神田區三崎町三丁目一番地 劇場改良座 兵衛山崎武	洋燈ノ 火衣裳	煉瓦石造劇場全一棟	全一戶	八七、三三三坪	一、〇〇〇、〇〇〇	

消防本署火災原簿

〔附記〕 官報ニ、

去月三十日(○)明治廿六年五月午前零時五分、東京市淺草區田中町二十四番地ヨリ出火、全燒二十六戶、半燒十五戶、原因過失ナリ。(○)消防本署火災原簿ニハ、全燒坪數四百二十坪八合、半燒坪數十五坪、概價全燒九千二百五十圓、半燒百五十圓ト有リ。
一昨十七日(○)明治廿六年八月午後六時三十五分、東京市芝區沙留町一丁目一番地鐵道作業局構内木材倉庫ヨリ出火、倉庫五棟燒失セリ。

消防本署火災原簿ニ據レバ、明治廿六年十二月十日日本橋區坂本町東京興信所燒ケ、煉瓦造會社半燒、一棟七十二坪四合、概價二萬二千二百圓。木造亞鉛葺會社半燒、一棟十二坪、概價六百圓燒亡ス。

一昨六日(○)明治廿七年一月午後七時三十五分、東京市淺草區地方今戶町十九番地ヨリ出火、全燒十三戶、半燒十四戶。(○)消防本署火災原簿ニハ、市立待乳山小學校災シ、全燒十三戶、三百七十五坪一合八勺、概價一萬六千二百卅五圓、半燒十四戶、四十八坪七合五勺、概價千四百四十圓燒亡スト見ユ。

帝都時代ノ火災

官報

明治廿七年一月後火災
明治廿六年五月後火災
附記

明治卅七年五月六日日本所區中ノ郷業平町火有り、全焼一戸、半焼三戸、三百六十六坪二合五勺、概價一萬二千六百八十圓燒ク。事記シテ消防本署火災原簿ニ在リ。

明治卅七年六月三日、本郷區元富士町内〇市帝國大學工科大學造船教場室燒ク。〇消防本署火災原簿。官報。十二月廿一日〇明治卅七年紀元二五六年小石川區久堅町内〇市火有り。〇消防本署火災原簿。

明治卅七年火災 總計五百十五箇所、六百二戸、九千五百七十九坪七合七勺中、左ノ火災ヲ重ナル者トス。
一、六月三日火災 八、

月日	發火時間	風勢	火地名姓名火起原因	燒失家屋區分	合戸數	合坪數	燒失家屋概價	死傷
三月〇日 明治卅七年六月	午後五時十分 發火 午後五時十分 鎮火		本郷區元富士町帝國大學工科大學造船教場室	煉瓦造 煉瓦造 煉瓦造 木骨煉瓦造 教室 教室	全一棟 全一棟 全一棟 半一棟	七、〇〇九、七七八坪 七、〇〇九、七七八坪 八、五、三九六、〇八、六六五		

消防本署火災原簿

四月〇日〇明治卅七年六月午前零時十分、東京市本郷區元富士町二番地、東京帝國大學構内ヨリ出火、全焼一棟、概ネ燒失一棟、同二時四十六分鎮火。原因詳ナラズ。

官報

〔參考〕東京日々新聞明治卅七年六月四日ノ紙上ニ、

午前零時十分頃、東京帝國大學工科大學附屬造船學教室階下より發火、折柄の強風にて、見る／＼一面の猛火となり、遂ひに前記造船學教室、造兵學教室、火藥學教室及び北方十間程を隔てし工科大學本館の裏手なる土木學教室を烏有に歸せしめしが、出火の原因は小使の過失なりともいひ、又昨今内部の造作に従事せる大工共が鉋屑を燃せし殘火なりともいひ、或は放火なりやといふものありて詳ならず。

〔附記〕

消防本署火災原簿ニ據レバ、明治卅七年九月十七日神田區今川小路二丁目火有り、全焼八戸、三百五十五坪七合八勺、概價一萬五千九十二圓、半燒八戸、七坪、概價一千九圓ヲ燒キ、十一月十六日日本橋區蠣殼町二丁目火有

リ、全焼九戸、半燒八戸、二百七十三坪一合三勺、概價九千八百九十二圓六十錢ヲ燒ク。

十九日〇明治卅七年十二月午後七時五十分、小石川區小石川町一番地砲兵工廠ヨリ出火、全焼一戸、同八時五十四分鎮火。原因過失ナリ。

官報

十二月廿一日火災 消防本署火災原簿ニ據ル。

帝都時代ノ火災

附記
明治卅七年
九月後
火災

十二月廿一日火災

明治卅七年
六月三日
火災

明治卅七年
火災事蹟

六月三日
火災

二十九日○明治卅八年五月。午前八時十分、小石川區小石川町一番地砲兵工廠内雷汞場ノ雷管破裂シ、工場焼失破壊各二棟、同八時四十二分鎮火。死傷者アリ。

—官報

〔參考〕東京日々新聞明治卅八年五月卅日紙上ニ、

午前八時十分頃、小石川砲兵工廠の邊に當り、轟然たる異常の音響あり、その附近の家屋も震動したる程なりしかば、何事やらんと人々驚き惑ひしが、後に聞けば、右同廠工場の一部より發火せるものにて、發火の場所は上富坂町に接近し居れりと覺しく、同町十六、七、八番地邊にて、戸障子裂け、壁土震落されしものありき。此の椿事に付き、東京電氣鐵道は水道橋以西の運轉を中止し、同所の往來は各署より應援の巡查、憲兵嚴重に警戒して、職工の子女父兄が安否を氣遣ひ、同廠の前に押掛けんとするを制止するなど、一時は非常の混雜なりしが、火は間もなく鎮まり、建物等にも格別損害なく、死傷者極めて少數なりしと云ふ。

三、九月六日火災

月日	發火時間	風勢	元地名姓名	火起原因	燒失家屋區分	合戸數	合坪數	燒失家屋概價	死傷
六月廿八日(明治卅八年九月)	午前三時		淺草區日 本堤警察 分署	放火	木造瓦葺 官署 全 住 全 住 全 士藏造 半 住 半 住 半 住 半	全五十 一棟	三、九、七、〇〇、〇〇〇 二、一、五	三、五〇、〇〇〇	

—消防本署火災原簿

附記
明治卅八年九月六日火災

〔附記〕消防本署火災原簿ヲ按ズルニ、明治卅八年九月六日日本所區横川町天主教會出火、全燒九戸、二百十二坪四合六勺、概價二萬九百六十八圓廿錢燒ク。

四、十月四日火災

ハ、消防本署火災原簿ニ見ユ。

月日	發火時間	風勢	元地名姓名	火起原因	燒失家屋區分	合戸數	合坪數	燒失家屋概價	死傷
四月廿八日(明治卅八年十月)	午前九時		赤坂區新 四丁目 職安 次職安 安蛭勤	不明	木造柿葺 住 全 住 全 住 全 住 全 住 全 住 全 工場 全 住 半 住 半	全 卅六戸 半 十戸	二、三、七、〇〇〇 四〇、九、七、三、九、三、一、五五		

〔附記〕 官報ニ、

二十八日(明治卅八年十月) 午前二時三十分、赤坂區檢町十番地ヨリ出火、全燒二十二戸、半燒五戸、同三時二十分鎮火。原因詳ナラス。

五、十一月十四日火災

ハ、

月日	發火時間	風勢	元地名姓名	火起原因	燒失家屋區分	合戸數	合坪數	燒失家屋概價	死傷
十月十四日(明治卅八年十一月)	午後二時		小石川區 竹早町八 四丁目 女子師範 學校寄宿 舍	湯呑所 煙突	木造瓦葺 學校寄宿舍 全 一棟	全一戸	二、八、五、〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇	

帝都時代ノ火災

附記
明治卅八年十月十四日火災

十月四日火災

十四日○明治卅八年十一月。午後三時五分、小石川區竹早町東京府女子師範學校ヨリ出火、全燒寄宿舎一棟、負傷者五名、同四時二十分鎮火。原因過失ナリ。

官報

〔附記〕 官報云フ、

二十四日○明治卅八年十一月。午前二時五十分、日本橋區品川町五番地ヨリ出火、全燒十五戶、土藏四棟、半燒十一戶、燒死者三、原因過失ナリ。○消防本署火災原簿ニ據レバ、全燒十五戶、坪數二百一坪七合三勺、概價一萬七千二百廿圓、半燒十一戶、坪數十七坪七合五勺、概價二千三百五十圓也。

卅九年○明治卅九年一月卅一日淺草區淺草町○市 燒夕。○消防本署火災原簿。官報。火

二月十九日○明治卅九年○紀元 一月卅一日淺草區淺草町○市 燒夕。○消防本署火災原簿。官報。火

戶、二千四百一坪餘燒失ス。○消防本署火災原簿。○四月廿二日○明治卅九年○紀元 火ヲ失シ、二百九十一

田區猿樂町○市 火有リ、○消防本署火災原簿。五月六日○明治卅九年○紀元 本郷區根

津藍染町○市 百廿四戶、三千九百八十坪餘燒夕。○消防本署火災原簿。

明治卅九年火災 總計五百五十五箇所、千三百卅五戶、二萬二千八十四坪三合

附記 明治卅八年十一月四日火災

明治卅九年一月卅一日火災

二月十九日火災

四月廿二日火災

五月六日火災

明治卅九年火災事蹟

一月卅一日火災

九勺ノ中、重ナル火災ヲ擧グ。

一、一月卅一日火災 ハ、

月日	發火時間	風勢	火地名姓名	火起原由	燒失家屋區分	合戶數	合坪數	燒失概價	死傷
卅一日	發火		淺草區淺草町一	放火	煉瓦造 全一棟 木造金屬葺 全一七棟 住 全一三棟 同板柿葺 九棟 住 全二棟 土藏造 全一棟 寺院土藏 全一棟	全四一六戶 廿半戶	二、四〇〇坪 一、八〇五坪 三、三七六坪 九、八三三坪 二、八〇〇坪 六、三三五坪	八〇,〇〇〇 二、八〇,〇〇〇 九、八三三,〇〇〇 二、八〇〇,〇〇〇 六、三三五,〇〇〇	

消防本署火災原簿

同○明治卅九年一月。三十一日午前零時十分、東京市淺草區淺草町十一番地ヨリ出火、全燒四百四十五戶、半燒四十一戶、原因詳ナラズ。

官報

〔附記〕 官報記シテ云フ、

十八日○明治卅九年二月。午後一時四十分、新橋停車場構内ヨリ出火、官舎、湯呑場物置各々一棟燒失。

消防本署火災原簿ニ據レバ、新橋停車場構内火災、同日、豊多摩郡内藤新宿町元一丁目出火シ、全燒四十三戶、半燒七戶、坪數千九百十四坪三合八勺、概價四

帝都時代ノ火災

附記 明治卅九年二月十八日火災

二月十九日火災

萬七千八百五十九圓九十二錢七厘燒失スルコト見ユ。
二、二月十九日火災 傳へ云フ、

月日	發火時間	風勢	元地名姓名	火起原因	燒失家屋區分	合戶數	合坪數	燒失家屋概價	死傷
十九日	午前四時	西和	麻布區谷	洋燈ノ	木造瓦金屬葺 住 全百卅六棟	全二七二	二四〇、五四坪	四七、五六、七〇	
○明治廿九年二月	四十五分		町卅七西	火棚板	木造板葺 全一五棟	全二七二	二四〇、五四坪	四七、五六、七〇	
廿九日	午前六時	風	商瀨戸川	ニ移ル	住 全百四十一棟	全二七二	二四〇、五四坪	四七、五六、七〇	
廿九日	午後八時		末吉		土藏造土藏 全七十一棟	全二七二	二四〇、五四坪	四七、五六、七〇	

消防本署火災原簿○官報同。

四月廿二日火災

三、四月廿二日火災 消防本署火災原簿ヲ抄出ス。

月日	發火時間	風勢	元地名姓名	火起原因	燒失家屋區分	合戶數	合坪數	燒失家屋概價	死傷
廿二日	午後八時		神田區猿樂町二東	不明	木造瓦金屬葺 學校 全一棟	全卅五戶	一、五五〇、六三坪	四七、五六、七〇	
○明治廿九年四月	廿分		京中學校		住 全三十四棟	全卅五戶	一、五五〇、六三坪	四七、五六、七〇	
廿九日	九時卅分				木造板葺葺 住 全一棟	全卅五戶	一、五五〇、六三坪	四七、五六、七〇	

五月六日火災

四、五月六日火災 消防本署火災原簿ニ據ル。官報亦同シ。

月日	發火時間	風勢	元地名姓名	火起原因	燒失家屋區分	合戶數	合坪數	燒失家屋概價	死傷
六月廿九日	午後一時		本郷區根津藍染町	長火	木造瓦鐵葉葺 劇場 全一棟	全二一	三、九八〇、三三坪	三五、一〇、〇〇〇	
○明治廿九年五月	午後二時		彌市	火鉢ノ	住 全四十六棟	全二一	三、九八〇、三三坪	三五、一〇、〇〇〇	

〔附記〕 官報ニ、

二十六日(明治廿九年五月) 午前一時十分、本所區林町三丁目六番地ヨリ出火、全燒三十五戶、半燒十戶、原因過失ナリ。
 八日(明治廿九年六月) 午前零時四十分東京市京橋區築地明石町三十二セントラルホテルヨリ出火、全燒一戶。
 十二日(明治廿九年六月) 午後七時二十三分、東京市麴町區大手町一ノ一私立商工中學校ヨリ出火、全燒四棟、半燒一棟、原因過失。

消防本署火災原簿ニハ、明治廿九年十二月十日麴町區上二番町女子學院燒ケ、一戶百六十五坪、概價二萬圓灰燼スルコトヲ記ス。

四十年(明治四十七年) 一月九日、本郷區湯島四丁目(市) 火有リ。○消防本署火災原簿ニ、

十九日(明治四十七年) 四谷區荒木町(市) 火有リ。○消防本署火災原簿ニ、

廿二日(明治四十七年) 遞信省(市) 燒ク。○消防本署火災原簿ニ、

六月廿九日(明治四十七年) 本所區小梅瓦町(市) 出火、向島小梅町(市) 二飛火

帝都時代ノ火災

明治四十年
一月九日
一月廿九日
一月廿九日
六月廿九日

附記
明治廿九年
五月廿九日
六月廿九日

九月十三日火災
九月廿日火災

明治四十年火災事蹟

一月九日火災

ス。類焼有り。○消防本署火災原簿官報。九月十三日(明治四十年)紀。本郷區本郷四

丁目(市)内。○市。勸工場本郷館燒ク。○消防本署火災原簿官報。廿日(明治四十年)紀。元

區内山下町一丁目(市)内。○市。帝國五二館燒ク。○消防本署火災原簿官報。

明治四十年火災。總計六百七箇所、千四百卅四戸、二萬百廿七坪四合九勺中、重

ナル者六回也。

一、一月九日火災。消防本署火災原簿ニ見ユ。

月日	發火時間	風勢	元地名姓名	起火原因	燒失家屋區分	合戸數	合坪數	燒失家屋概價	死傷
九月廿一日(明治四十年)	午後四時		本郷湯島	不明	木造瓦金屬 全一戸	一	七〇、九八坪	一八、六、〇〇〇円	
九月廿一日(明治四十年)	午後四時		四丁目三丁目	不明	全三棟	三			
九月廿一日(明治四十年)	午後四時		下宿業笹尾隆吉	不明	全五棟	五			

〔附記〕 明治四十年一月十七日午後七時ヨリ九時マデニ、武藏國南足立郡

附記
明治四十年一月十七日火災

千住町字千住一丁目燒ク、全燒六十六戸、三百廿一坪四合五勺、概價八千三百五十五圓、半燒十二戸、三百十六坪二合五勺、概價五千七百四十五圓ヲ燒失シ、午後八時五分ヨリ九時四十分マデニ、南千住字地方橋場燒ク、全燒六十戸、六百七十七坪九合七勺、概價一萬五千五百廿二圓卅錢、半燒十二戸、五十七坪三

一月十九日火災

二、一月十九日火災。消防本署火災原簿左ノ如シ。
合概價五百卅七圓燒失ス。事、消防本署火災原簿ニ見ユ。

月日	發火時間	風勢	元地名姓名	起火原因	燒失家屋區分	合戸數	合坪數	燒失家屋概價	死傷
一月十九日(明治四十年)	午前六時		四谷區荒木町二七劇場	不明	木造瓦金屬 全一棟	一	七五、一〇坪	一五、九、〇〇〇円	
一月十九日(明治四十年)	午前六時		劇場	不明	全一棟	一			

三、一月廿二日火災。ハ、

一月廿二日火災

月日	發火時間	風勢	元地名姓名	起火原因	燒失家屋區分	合戸數	合坪數	燒失家屋概價	死傷
一月廿二日(明治四十年)	午前二時		京橋區木挽町八丁目遞信省	不明	煉瓦造三階 全二棟	二	九九、七三坪	二六、〇七一、〇〇〇円	
一月廿二日(明治四十年)	午前二時		京橋區木挽町八丁目遞信省	不明	全二棟	二			

消防本署火災原簿

二十二日(明治四十年)一月。午前三時二十分、京橋區木挽町八丁目遞信省ヨリ出火、全燒二棟、午前七時鎮火。負傷者十四。

官報

〔附記〕 消防本署火災原簿ニ、明治四十年二月九日、深川區東扇橋町火有リ、

帝都時代ノ火災

明治四十年二月後
火災

全燒六十戶、六百七十七坪九合七勺、半燒七戶、概價八千二百五十圓ヲ燒キ、廿四日、本所區菊川町一丁目火有リ、全燒五十二戶、百十七坪、概價千八百圓、半燒六戶、五十六坪、概價千二百圓ヲ燒キ、三月七日、下谷區上車坂町私立岩倉鐵道學校一戶半燒、三百廿五坪九合、概價二萬三千三百廿五圓ヲ燒キ、四月八日、深川區深川東町火有リ、全燒七十一戶、半燒七戶、三百八十五坪九合六勺、概價七千三百廿七圓ヲ燒クコト見ユ。

五月廿九日
火災

四、五月廿九日火災 消防本署火災原簿左ノ如シ。官報異事ナシ。

月日	發火時間	風勢	元地名姓名	起火原因	燒失家屋區分	合戶數	合坪數	燒失家屋概價	死傷
廿九日	午後四時	南風	本所區小梅瓦町五	製造場	木造瓦金屬茅葺	全四十戶	四百坪		
○明治	午後四時	南風	無業遠藤	製粉	瓦 全二三棟	半十六戶	五百坪		
○明治	午後四時	南風	本所區向島小梅町	住	トタン全一棟	全七戶			
○明治	午後四時	南風	本所區向島小梅町	住	柿 全三棟	全七戶			
○明治	午後四時	南風	本所區向島小梅町	住	瓦 半一棟	半三戶			
○明治	午後四時	南風	本所區向島小梅町	住	瓦 半一棟	半三戶			

明治四十年七月後
火災

〔附記〕 消防本署火災原簿ヲ按ズルニ、明治四十年七月十八日赤坂區田町五丁目火有リ、全燒五戶、半燒七戶、坪數三百四十三坪、概價九萬五千七百廿四圓ヲ燒ク。九月八日ニハ、小石川區武島町火有リ、全燒四十五戶、半燒九戶、坪數

九月十三日
火災

四百十坪、概價一萬四千三百七十五圓ヲ燒ク。
五、九月十三日火災 消防本署火災原簿ニ據ル。官報同シ。

月日	發火時間	風勢	元地名姓名	起火原因	燒失家屋區分	合戶數	合坪數	燒失家屋概價	死傷
十三日	前二時三十分		本鄉區本郷四丁目	不明	木造瓦葺	全一戶	二四坪	四五、九四、〇〇	
○明治	前二時三十分		本鄉區本郷四丁目	不明	住 半二棟	全一戶			
○明治	前二時三十分		本鄉區本郷四丁目	不明	煉瓦造	半三戶			
○明治	前二時三十分		本鄉區本郷四丁目	不明	勸工場 全一棟	半三戶			

九月卅日
火災

六、九月卅日火災

月日	發火時間	風勢	元地名姓名	起火原因	燒失家屋區分	合戶數	合坪數	燒失家屋概價	死傷
三十日	午後八時		麴町區內山下町一丁目二番	實ノ	木造瓦金屬葺	全一戶	二、五五、〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	
○明治	午後八時		麴町區內山下町一丁目二番	實ノ	住 全二棟	全一戶			
○明治	午後八時		麴町區內山下町一丁目二番	實ノ	物品陳列所 全二棟	半二戶			
○明治	午後八時		麴町區內山下町一丁目二番	實ノ	物品陳列所 全一棟	半二戶			

消防本署火災原簿

三十日 明治四十年九月。午後八時十分、麴町區內山下町一丁目二番地株式會社帝
帝都時代ノ火災

國五二館ヨリ出火、全焼三棟、半焼一棟、焼死者一、同十時三十分鎮火セリ、

—官報

附記
明治四十年十月十日
火災

〔附記〕 消防本署火災原簿ニ據レバ、明治四十年十月五日、淺草區馬道町八丁目出火、全焼十八戸、三百廿六坪、概價二萬三千百九十五圓、半焼廿七戸、百卅七坪、概價三千九十二圓焼失ス。官報ニハ、

二日(明治四十年十二月) 午前二時小石川區指ヶ谷町百八番地ヨリ出火、全焼寺院一棟、住屋一戸、半焼住屋四戸、同時三十五分鎮火。原因放火。
二日(明治四十年十二月) 午前九時三十分、牛込區市ヶ谷八幡町十六番地ヨリ出火、全焼寺院一棟、半焼住屋二戸、同時五十五分鎮火。原因過失。

此外消防本署火災原簿ニ、十二月十日武藏國豐島郡南千住町大字下谷通新町失火、全焼六十三戸、三百一坪、概價六千四百卅九圓、半焼八戸、二百六十五坪、概價三千七百六十六圓焼失スルコト見ユ。

〔參考〕 東京ノ火災

徳川氏入國以前ハ、姑ク之ヲ措ク。天正十八年八月ノ入國ヨリ明治四十年末ニ至ル三百十八年間ニ於テ、東京ノ地ニ火災ヲ見タルコト實ニ幾千回ナルヲ知ラズ、其重ナル者ノミヲ舉グルモ猶八百七十三回ノ多キニ達ス。

時	日	風向	場	所	程度
天正十八年(二二五〇年)九月三日			具塚増上寺		大
慶長六年(二二六一年)閏十一月二日		?	駿河町出火、全市		
慶長十二年(二二六七年)正月七日			神田		
慶長十二年(二二六七年)十一月朔日			飯田町ヨリ田安口門マデ		
慶長十四年(二二六九年)正月四日			本町		
慶長十四年(二二六九年)八月			代官町		
慶長十六年(二二七一年)正月三日			龍口蒲生邸池田邸		
慶長十六年(二二七一年)七月三日			和田倉門内井伊邸、榊原邸		
慶長十七年(二二七二年)五月七日			龍口松平忠輝邸		
慶長十七年(二二七二年)六月二日			神田橋内土井利勝邸		
慶長十九年(二二七四年)二月廿六日			江戸		
元和元年(二二七五年)四月廿八日			佐竹邸及附近		
元和元年(二二七五年)九月廿一日			櫻田毛利、伊達、鍋島、島津邸等		
元和三年(二二七七年)正月十四日			西久保天徳寺		
元和六年(二二八〇年)十二月九日			通町十五箇町		
元和七年(二二八一年)正月廿四日		(西北風?)	城内尾藩邸ヨリ櫻田一帶ニ及ブ		大
元和八年(二二八二年)正月廿二日			加藤嘉明邸		
寛永三年(二二八六年)七月廿八日			西丸下		
寛永四年(二二八七年)四月八日			芝愛宕社		
寛永四年(二二八七年)九月晦日		大風(北風?)	横山町出火、四十箇町		大
寛永七年(二二九〇年)九月十一日			小石川水戸邸		

帝都時代ノ火災

萬治三年(二三二〇年)二月十四日	(西北風?)	中橋疊町ヨリ八丁堀
寛文元年(二三二一年)正月廿日	北西風	(一)丸山下ヨリ本郷四丁目谷町マデ (二)元鷹匠町ヨリ鐵砲洲ニ至ル
寛文元年(二三二一年)十一月三日		浅草堀田邸附近
寛文元年(二三二一年)十一月廿八日	(風 甚)	牛込酒井邸附近
寛文三年(二三二三年)十二月九日	(風 烈)	水野重土邸附近
寛文四年(二三二四年)閏五月十四日		浅草淨念寺及近傍
寛文四年(二三二四年)十一月廿三日		麴町三丁目ヨリ永田町マデ
寛文六年(二三二六年)十二月九日		牛込榎町
寛文八年(二三二八年)二月朔日	西北風烈	(一)牛込酒井邸ヨリ芝海邊マデ (二)吉祥寺前ヨリ日本橋マデ (三)麴町門外附近
寛文八年(二三二八年)二月四日	西北風烈	(一)下谷車坂ヨリ本所深川マデ (二)四谷ヨリ青山赤坂マデ (三)麻布ヨリ三田芝マデ
寛文八年(二三二八年)二月六日	西北風	小日向ヨリ代官町邊マデ
延寶四年(二三三六年)九月廿二日		増上寺
延寶四年(二三三六年)十二月七日	(西北風 烈?)	三谷遊廓ヨリ山之宿、本所中之郷
延寶四年(二三三六年)十二月廿七日	(西北風 烈?)	神田須田町ヨリ小舟町附近マデ
延寶五年(二三三七年)四月六日		浅草黒船町ヨリ浅草寺雷門マデ
延寶六年(二三三八年)正月十日	(北風烈?)	四谷伊賀町ヨリ麻布新堀マデ
延寶六年(二三三八年)十二月四日		櫻田鍋島邸及附近
延寶七年(二三三九年)五月廿九日		堺町附近
延寶八年(二三四〇年)四月廿日		土器町
延寶八年(二三四〇年)五月五日		天澤寺前駕籠町
延寶八年(二三四〇年)八月十五日		數寄屋橋ヨリ小川町マデ
延寶八年(二三四〇年)十月廿一日		三河町三丁目附近

大 大

大

天和二年(二三四二年)正月廿七日	(風 烈)	天澤寺前
天和二年(二三四二年)四月十七日		駿河町附近
天和二年(二三四二年)十一月廿八日	北風烈	河田窪ヨリ四谷、赤坂、芝海岸マデ
天和二年(二三四二年)十二月廿八日	西北風烈	駒込大圓寺ヨリ東本所マデ南日本橋マデ
天和三年(二三四三年)二月六日	南風	(一)四谷鹽町ヨリ牛込マデ (二)白山附近
天和三年(二三四三年)十二月五日		通鹽町附近
貞享元年(二三四四年)二月廿四日		芝神明前近傍
貞享三年(二三四六年)三月廿日		京橋兩替町
貞享五年(二三四八年)二月十一日	西南風	駒込
貞享五年(二三四八年)三月廿五日	後西北風	下谷
貞享五年(二三四八年)五月四日		本郷一丁目附近
元祿三年(二三五〇年)正月廿四日		浅草知樂院ヨリ本所
元祿四年(二三五一年)二月十一日		麴町五丁目
元祿四年(二三五一年)十二月十一日		麴町四丁目
元祿八年(二三五五年)二月八日	西北風	四谷ヨリ芝海岸マデ
元祿八年(二三五五年)十二月廿六日		數寄屋町ヨリ木挽町マデ
元祿九年(二三五六年)正月廿五日		鞘町附近
元祿十年(二三五七年)十月十七日	西北風	大塚ヨリ代官町マデ
元祿十年(二三五八年)九月六日	南風	南鍋町ヨリ延燒千住ニ至ル
元祿十一年(二三五八年)十二月十日	西北風	石町ヨリ八丁堀マデ
元祿十二年(二三五九年)三月十九日		(一)築地小田原町 (二)靈巖島
元祿十二年(二三五九年)三月廿一日	(風 烈)	廣尾
元祿十二年(二三五九年)四月四日		日本橋品川町ヨリ筋違門マデ

大 大

大

大 大

享保二年(二三七七年)正月廿三日	南風	赤城下ヨリ音羽邊
享保二年(二三七七年)六月九日	南風	小傳馬町ヨリ下谷、淺草
享保二年(二三七七年)十一月十五日	(北風強?)	本所回向院邊ヨリ深川八幡邊
享保二年(二三七七年)十二月十二日	北風	神田横大工町ヨリ品川町マデ
享保二年(二三七七年)十二月廿八日	西北風強	牛込拂方町ヨリ増上寺前海手マデ
享保三年(二三七八年)四月廿日	南風	小傳馬町一丁目ヨリ下谷、淺草、千住
享保三年(二三七八年)五月朔日	西北風	五郎兵衛町ヨリ鐵砲洲、新橋邊マデ
享保三年(二三七八年)十月三日	西北風	桶町等十町許
享保三年(二三七八年)十二月五日	南大風	傳通院附近ヨリ田畑村マデ
享保三年(二三七八年)十二月十一日	西北大風	東叡山ヨリ淺草本所マデ
享保三年(二三七八年)十二月廿五日	西北風烈	芝口
享保四年(二三七九年)二月十三日	西北風	三田ヨリ品川鈴ヶ森マデ
享保四年(二三七九年)二月十四日	北西風	池ノ端ヨリ日本橋マデ
享保四年(二三七九年)三月十日	西風	下谷七軒町ヨリ本所邊マデ
享保四年(二三七九年)六月十六日	南西風	神田三河町等廿四五町
享保五年(二三八〇年)三月廿七日	南風烈	箱屋町ヨリ千住マデ、上野山内亦燒ク
享保五年(二三八〇年)七月十九日	北風	中橋南筋町ヨリ卅間堀芝口マデ
享保六年(二三八一年)正月八日	北風	吳服町ヨリ築地ニ至ル
享保六年(二三八一年)正月廿八日	南風	善福寺門前ヨリ愛宕附近
享保六年(二三八一年)二月七日	北風	四谷中殿町出火、飛火赤坂今井ヨリ三間屋マデ
享保六年(二三八一年)二月九日	西北風	四谷傳馬町ヨリ品川マデ
享保六年(二三八一年)三月三日	南西風	神田三河町ヨリ千住マデ
享保六年(二三八一年)三月四日	南烈風	牛込拂方町ヨリ小石川、本郷、道灌山マデ

享保六年(二三八一年)十二月十日	西北風烈	(一)神田永富町ヨリ築地マデ
享保七年(二三八二年)正月廿一日	北風烈	(二)本所ヨリ深川マデ
享保七年(二三八二年)二月五日	南大風雨	小石川餅差町ヨリ臺所町飛火、田安門外マデ
享保七年(二三八二年)二月六日	北風	一番町ヨリ小石川飛火、延燒本郷弓町マデ
享保八年(二三八三年)二月十六日	北西大風	神田新白銀町ヨリ鎌倉河岸マデ
享保八年(二三八三年)三月七日	北風烈	赤坂傳馬町二丁目ヨリ三田、白金、芝海手マデ
享保八年(二三八三年)十月廿四日	西北大風	淺草山之宿附近
享保八年(二三八三年)十二月五日	北風	芝愛宕下ヨリ海岸マデ
享保八年(二三八三年)十二月十九日	北風	牛込天神町ヨリ一番町堀端ニ至ル
享保九年(二三八四年)正月十九日	北風	牛込山伏町ヨリ拂方町附近
享保九年(二三八四年)正月晦日	北風	山下門外加賀町ヨリ芝口海手マデ
享保九年(二三八四年)二月十五日	西北風強	淺草新寺町ヨリ本所マデ
享保九年(二三八四年)閏四月五日	南風	茗荷谷町ヨリ巢鴨マデ
享保十年(二三八五年)二月十四日	南西風烈	青山久保町ヨリ谷中ニ至ル
享保十年(二三八五年)三月朔日	北西風	下谷池端ヨリ神田明神下マデ
享保十年(二三八五年)三月朔日	西北風強	本所石原ヨリ剗下水通四ツ日
享保十二年(二三八七年)二月六日	北大風	表二番町附近
享保十二年(二三八七年)十二月十日	北大風	表二番町ヨリ芝ニ達ス
享保十三年(二三八八年)二月十四日	南大風	青山久保町ヨリ鮫ヶ橋マデ
享保十三年(二三八八年)二月十六日	北風烈	猿樂町ヨリ護持院原マデ
享保十四年(二三八九年)二月十三日	北風烈	淺草茅町ヨリ本所、深川、築地ニ至ル
享保十四年(二三八九年)二月十五日	南風強	聖天町ヨリ本所ニ及ブ
享保十五年(二三九〇年)正月七日	南風強	麻布阿部豊後守下屋敷ヨリ青山、赤坂 青山紀伊邸

帝都時代ノ火災

享保十五年(二三九〇年)正月十二日	北風	下谷七軒町ヨリ小石川マデ
享保十五年(二三九〇年)十一月廿三日	四谷	
享保十六年(二三九一年)三月十七日	大南風	芝森元町ヨリ麻布赤坂ノ一部ヲ燒ク
享保十六年(二三九一年)四月十五日	西北大風	目白臺ヨリ牛込、麴町、芝マデ
享保十七年(二三九二年)二月十二日	西南大風	(一)愛宕下青松寺ヨリ幸橋内マデ (二)白金猿町 (三)集鴨原町
享保十七年(二三九二年)三月廿八日	西北風烈	(一)淺草新寺町ヨリ本所、深川木場マデ (二)西丸下ヨリ山下門外若千町、又木挽町五丁目ヨリ海手マデ (三)大塚本傳寺邊ヨリ四番町邊マデ、又小石川葛坂邊
享保十七年(二三九二年)十二月十日	西北風	(四)集鴨
享保廿年(三二九五年)十月六日	西北風	赤坂紀伊邸及附近
元文元年(二三九六年)十月十五日	富士南風	麻布眞田邸ヨリ飯倉三田マデ
元文二年(二三九七年)二月八日	西南風	神田裏猿樂町ヨリ駿河臺ニ至ル
元文二年(二三九七年)五月三日	西南風	改代町附近
元文三年(二三九八年)正月廿九日	西南風	下谷相生町ヨリ上野金杉マデ
元文四年(二三九九年)正月十九日	(西北風?) (風烈)	下谷無縁坂
元文四年(二三九九年)三月四日	(西風?) (風烈)	淺草俵町ヨリ本所ニ達ス
寛保二年(二四〇二年)正月四日	北風烈	佃島
寛保二年(二四〇二年)二月十五日	北風烈	湯島三組町ヨリ柳原マデ
延享二年(二四〇五年)二月十二日	北風烈	赤坂門外
延享二年(二四〇五年)二月廿三日	西北風	四谷番所町ヨリ青山百人町ニ至ル
延享二年(二四〇五年)二月廿三日	西風	千駄谷ヨリ青山、麻布、白金、高輪、品川マデ 増上寺ヨリ金杉、本芝マデ 集鴨原町

延享三年(二四〇六年)正月十二日	南風後	淺草誓願寺前ヨリ附近數町
延享三年(二四〇六年)二月廿七日	西北風	市谷尾張邸
延享三年(二四〇六年)三月晦日(陽曆三月廿一日)	南風強	(一)本所横堀 (二)築地ヨリ本所ニ至ル (三)淺草馬道附近ヨリ小塚原マデ 一橋邸
延享四年(二四〇七年)正月朔日	北西風	外櫻田ヨリ芝マデ
延享四年(二四〇七年)二月十日	東風烈	江戸城二丸
延享四年(二四〇七年)四月十六日	南大風	谷中
寛延元年(二四〇八年)三月二日		淺草寺中ヨリ山谷マデ
寛延三年(二四一〇年)三月十六日		下谷茅町
寛延三年(二四一〇年)十二月廿七日		赤坂紀伊邸
寶曆二年(二四一二年)正月五日		増上寺門前
寶曆二年(二四一二年)十二月廿六日	西風	日本橋新材木町
寶曆六年(二四一六年)正月十五日	北風西風	(一)八代洲河岸ヨリ木挽町マデ、又築地 (二)青山ヨリ二本榎マデ
寶曆六年(二四一六年)十一月廿三日	西北風	赤坂ヨリ芝田町邊マデ
寶曆十年(二四二〇年)二月四日	西北風	麻布狸穴
寶曆十年(二四二〇年)二月五日	西北風	(一)芝神前ヨリ田町マデ (二)神田ヨリ洲崎マデ
寶曆十年(二四二〇年)二月六日	西北風	麻布市兵衛町
寶曆十一年(二四二一年)二月四日	北風	淺草誓願寺門前
寶曆十一年(二四二一年)四月八日	北風	赤坂湯屋町
寶曆十一年(二四二一年)七月廿九日	南風	堺町
寶曆十一年(二四二一年)九月十七日	南風	芝着町近傍
寶曆十二年(二四二二年)二月十六日	西北風	日ヶ窪ヨリ赤羽根マデ
寶曆十二年(二四二二年)二月廿二日	南風	田安邸

帝都時代ノ火災

寶曆十二年(二四二二年)十一月廿七日	西南風強	小石川水戸邸
寶曆十三年(二四二三年)二月五日	西南風強	四谷大番町ヨリ大塚マデ
寶曆十三年(二四二三年)三月七日	南風烈	京橋瀧山町
明和元年(二四二四年)二月廿日	西北風	神田新白銀町ヨリ一石橋河岸ニ至リ飛火大名小路ニ及ブ
明和元年(二四二四年)八月廿八日	西北風	西丸下
明和元年(二四二四年)十二月廿一日	西南風後	喰違紀伊邸
明和二年(二四二五年)二月十一日	西南風後	小石川簞笥町ヨリ牛天神後マデ
明和三年(二四二六年)二月廿九日	西北風	堺町附近
明和三年(二四二六年)三月五日	西南風	赤坂紀伊邸
明和三年(二四二六年)三月十四日	西南風	下谷御成道ヨリ車坂下ニ至ル
明和三年(二四二六年)四月十三日	西南風	筋違見附外永富町ヨリ淺草邊
明和三年(二四二六年)十一月三日	南風	芝掃除町ヨリ敷小路マデ
明和四年(二四二七年)四月九日	南大風	(一)金六町ヨリ一石橋マデ (二)駒形邊ヨリ聖天町マデ
明和五年(二四二八年)正月十三日	南風	本所邊
明和五年(二四二八年)二月廿九日	南風後	麻布櫻田町ヨリ龍土町マデ
明和五年(二四二八年)四月六日	東南風	新吉原、五十間道茶屋マデ
明和五年(二四二八年)六月十七日	西南風	竹橋門際多門
明和五年(二四二八年)十二月十八日	西南風	麴町五丁目
明和六年(二四二九年)二月廿三日	西南風烈	石町ヨリ大舟町河岸マデ
明和七年(二四三〇年)二月廿四日	西南風烈	本所一ツ目ヨリ中之郷邊ニ至リ、飛火新島越附近
明和七年(二四三〇年)八月十一日	西南風烈	濱松町三丁目ヨリ金杉濱町邊
明和八年(二四三一年)正月廿日	西南風	深川中町河岸ヨリ本所割下水マデ
	西南風	深川中島町

明和八年(二四三一年)正月廿一日	北風烈	麻布鳥居坂上ヨリ高輪マデ
明和八年(二四三一年)二月廿九日	南風烈	村松町ヨリ淺草藏前瓦町ニ至リ、濱町ヨリ本所ニ移リ、聖天町ノ飛火ハ橋場ニ達ス
明和八年(二四三一年)四月廿三日	南風	新吉原
明和八年(二四三一年)十月十八日	西北風	根津宮永町ヨリ下谷茅町マデ
明和八年(二四三一年)十二月十一日	西北風	北八丁堀及飛火鐵砲洲、湊町
明和九年(二四三二年)二月廿九日	西南風急	(一)行人坂ヨリ千住マデ燒ク (二)丸山ヨリ谷中、根岸マデ
安永元年(二四三二年)十一月朔日	北風	上野寛永寺
安永三年(二四三四年)十二月十二日	北風	小石川藥園ヨリ水道橋マデ
安永五年(二四三六年)十二月八日	西北風	増上寺中門附近
安永五年(二四三六年)十二月廿五日	北風強	關口水道町其他
安永六年(二四三七年)十一月廿九日	北風	麻布谷町ヨリ十番邊マデ
安永七年(二四三八年)正月四日	西大風	田安邸
安永七年(二四三八年)二月十二日	西大風	駒込片町附近
安永九年(二四四〇年)十月十四日	西北風	石洲三丁目ヨリ靈巖島、深川へ飛火シ、佃島、鐵砲洲船松町ヲ燒ク
天明元年(二四四一年)正月九日	西北風	大名小路高知藩邸
天明元年(二四四一年)正月廿一日	西北風	新材木町ヨリ小網町ニ至ル
天明元年(二四四一年)九月晦日	(雨中)	青山淺河町ヨリ久保町邊マデ
天明二年(二四四二年)十月十八日	西北風	新吉原
天明三年(二四四三年)三月五日	西北風	赤坂今井谷
天明三年(二四四三年)三月七日	西北大風	靈巖島
天明三年(二四四三年)三月八日	西北大風	鍛冶橋内
天明三年(二四四三年)九月廿六日	西南風	深川中町附近
	西南風	築地

天明三年(二四四三年)十月廿三日	西北風	小傳馬町ヨリ室町邊ニ至ル
天明三年(二四四三年)十月廿三日	西北風	鳥越ヨリ本所深川ニ飛火ス
天明三年(二四四三年)十二月廿三日	西北風	増上寺
天明四年(二四四四年)正月三日	西北風	(一)廣尾町
天明四年(二四四四年)閏正月十六日	南風	(二)内藤新宿ヨリ權田原へ飛火
天明四年(二四四四年)閏正月廿三日	西北風	池ノ端茅町七軒町
天明四年(二四四四年)四月十七日	西北風	神田鍛冶町ヨリ塗師町ニ至ル
天明四年(二四四四年)十一月晦日	西南風	新吉原
天明四年(二四四四年)十二月廿六日	西北大風	今井谷ヨリ一ツ木マデ
天明四年(二四四四年)十二月廿八日	西北風	常盤橋内ヨリ築地及芝源助町ニ至ル
天明五年(二四四五年)正月九日	西北風	赤坂水川門前ヨリ麻布永坂マデ
天明五年(二四四五年)正月十五日	西北風	高田馬場下ヨリ牛込原町マデ
天明五年(二四四五年)五月廿七日	東北風	横山町ヨリ龜井町マデ
天明五年(二四四五年)十二月十五日	西北風	芝新町ヨリ田町二丁目マデ
天明六年(二四四六年)正月十八日	西北風	三田三丁目ヨリ芝町五丁目へ飛火
天明六年(二四四六年)正月十九日	西南風	櫻田伏見町、鍛冶町、備前町等
天明六年(二四四六年)正月廿二日	西北大風	湯島天神表門前出火、本所、深川延燒
天明六年(二四四六年)正月廿三日	西北大風	西久保神谷町出火、芝田町海手マデ
天明六年(二四四六年)正月廿七日	西北風	(一)本町二丁目ヨリ室町三丁目マデ
天明六年(二四四六年)二月六日	西北風	(二)夜本所四ツ目ヨリ釜屋堀マデ
天明六年(二四四六年)二月十一日	西北風	(三)平川春屋
天明六年(二四四六年)十一月十一日	西北風	小石川指ヶ谷町ヨリ湯島ニ及ブ
天明六年(二四四六年)十一月廿二日	西北風	市谷尾州邸
天明六年(二四四六年)十一月廿四日	北風	宇田川町
天明六年(二四四六年)十一月廿四日	西南大風	本郷菊坂臺町
天明七年(二四四七年)正月十七日	西南大風	青山ヨリ鮫ヶ橋マデ

大 大 大

天明七年(二四四七年)二月十七日	西北風	麻布今井谷
天明七年(二四四七年)十一月朔日	西北風	四谷表大番町
天明七年(二四四七年)十一月九日	西北風	新吉原火、花川戸ニ延燒シ、小梅ニ飛火ス
天明七年(二四四七年)十一月十一日	西北風?	南茅場町河岸出火、延燒若干
天明八年(二四四八年)三月六日	西南風	靈巖島一丁目ヨリ南新堀一丁目マデ
寛政元年(二四四九年)正月十一日	西北風	麻布南日ヶ窪ヨリ永坂マデ
寛政元年(二四四九年)二月十八日	西北風	小梅代地ヨリ松倉町マデ
寛政元年(二四四九年)五月十九日	西北風	小石川門内
寛政元年(二四四九年)六月十七日	西南風	青山御手大工町
寛政二年(二四五〇年)正月廿二日	西北風	馬喰町ヨリ柳原土手ニ至ル
寛政二年(二四五〇年)正月廿九日	西北風	本所ヨリ深川末廣町ニ達ス
寛政二年(二四五〇年)正月晦日	西北風	駒込淺嘉町ヨリ鯉繩手マデ
寛政三年(二四五一年)十二月廿一日	(風烈)	葎町邊
寛政三年(二四五一年)十二月晦日	西北風	下谷
寛政四年(二四五二年)閏二月十日	南大風	麴町五丁目附近
寛政四年(二四五二年)七月廿一日	南大風	麻布斧橋ヨリ飯田町邊ニ達ス
寛政五年(二四五三年)十月廿五日	西北大風	湯島ヨリ日本橋マデ
寛政五年(二四五三年)十一月十三日	北大風	麻布藪下ヨリ白銀ニ至ル
寛政六年(二四五四年)正月十日	西北大風	(一)麴町五丁目ヨリ芝新錢座ニ至ル
寛政六年(二四五四年)正月十五日	西北大風	(二)夜、市谷田町
寛政六年(二四五四年)正月十六日	西北大風	麻布六本木ヨリ新堀マデ
寛政六年(二四五四年)正月十九日	西北大風	大塚浪切不動前出火、飛火有リ
寛政六年(二四五四年)四月二日	西北大風	飯倉町ヨリ赤羽根橋マデ
寛政六年(二四五四年)四月二日	西北大風	新吉原

帝都時代の火災

大 大 大

寛政七年(二四五五年)正月十日	西北大風	市谷柳町
寛政七年(二四五五年)正月十四日		麻布笠筒町
寛政七年(二四五五年)十月四日		評定所
寛政七年(二四五五年)十月廿四日		尾張町
寛政八年(二四五六年)三月十日		櫻田
寛政八年(二四五六年)十二月十二日		神田橋一橋邸
寛政九年(二四五七年)十月三日		上野山内
寛政九年(二四五七年)十一月十八日	西北風	日比谷門内
寛政九年(二四五七年)十一月廿二日	北風強	神田佐久間町ヨリ濱町ニ至リ深川ニ及ブ
寛政九年(二四五七年)十一月廿八日		巢鴨原町二丁目ヨリ十町餘
寛政九年(二四五七年)十二月廿八日		浅草山谷町
寛政十年(二四五八年)十月廿八日		青山浅川町
寛政十一年(二四九九年)正月廿八日	(北風?)	神田三河町
寛政十一年(二四五九年)正月廿九日		水谷町
寛政十一年(二四五九年)三月十日	西南大風	麻布古川新屋敷ヨリ市兵衛町マデ
寛政十二年(二四六〇年)正月廿七日		谷中
寛政十二年(二四六〇年)二月十九日		浅草寺門前
寛政十二年(二四六〇年)二月廿三日	(南風?)	龍泉寺町ヨリ新吉原ヲ燒ク
享和元年(二四六一年)正月三日	(北風?)	日本橋ヨリ京橋マデ
享和元年(二四六一年)十月廿日	西北風	飯田町
享和元年(二四六一年)十一月廿六日	(西北風?)	神田蟻燭町
享和二年(二四六二年)正月朔日	西北風	麻布永坂町ヨリ古川マデ
享和二年(二四六二年)正月十三日	北風烈	麻布坂下町附近

大

享和二年(二四六二年)三月七日	南大風	麴町三丁目ヨリ平河町マデ
享和二年(二四六二年)十二月五日	(西北風?)	駒込
享和二年(二四六二年)十二月十一日	(南風?)	湯島天神下ヨリ根津ニ至ル
享和三年(二四六三年)三月三日		麻布三谷町
享和三年(二四六三年)三月廿四日	北風	小石川指ヶ谷町ヨリ本郷六丁目マデ
享和三年(二四六三年)十一月廿八日	(北風?)	下谷藤堂邸ヨリ和泉橋川端マデ
文化三年(二四六六年)三月四日	西南風烈	芝草町ヨリ浅草新堀ニ至ル
文化三年(二四六六年)十一月四日	(北風?)	麻布土器町四丁目ヨリ赤羽橋中之橋マデ
文化三年(二四六六年)十一月十三日		葺屋町ヨリ蠣殻町マデ
文化四年(二四六七年)正月十九日	大南風	三田臺町二丁目ヨリ田町三丁目マデ
文化四年(二四六七年)二月五日	(北風?)	芝口ヨリ海手マデ
文化六年(二四六九年)正月朔日	西北大風	佐内町ヨリ濱町ニ至リ本所ニ及ブ
文化八年(二四七一年)二月十一日	西北風烈	市ヶ谷谷町ヨリ芝ニ達ス
文化八年(二四七一年)十一月十六日	西北風	南傳馬町二丁目ヨリ材木町河岸マデ
文化八年(二四七一年)十二月十一日	西北風	浅草柳稻荷裏ヨリ鳥越マデ
文化九年(二四七二年)十一月廿一日	南烈風	龍泉寺村ヨリ新吉原其他ニ及ビ本所ニ飛火ス
文化九年(二四七二年)十二月廿九日	西北風烈	桶町ヨリ金六町マデ
文化十年(二四七三年)二月三日	北風	神田三河町ヨリ新草屋町マデ
文化十年(二四七三年)二月十五日	西南風烈	下谷御成小路ヨリ池ノ端上野山下ニ及ブ
文化十年(二四七三年)十一月晦日	後北大風	高砂町ヨリ乗物町邊マデ
文化十二年(二四七五年)十月九日		數寄屋橋町奉行所
文化十三年(二四七六年)五月三日		新吉原
文化十四年(二四七七年)正月十二日	(雨) 南風	新乗物町ヨリ人形町邊マデ

大

大

帝都時代ノ火災

文化十四年(二四七七年)二月二日	(西南風?)	大久保ヨリ鮫ヶ橋ニ至ル
文化十四年(二四七七年)十二月廿八日	西北風	麴町
文政元年(二四七八年)八月廿二日	東北風	赤坂紀伊邸
文政元年(二四七八年)十月十七日	西北大風	淺草ヨリ本所、深川ニ至ル
文政元年(二四七八年)十月十九日	(西南風?)	愛宕下青松寺
文政元年(二四七八年)十二月廿三日	西北風	小川町
文政二年(二四七九年)二月九日	西北風	新着町ヨリ木挽町ニ至ル
文政二年(二四七九年)五月廿六日	(西北風?)	本町ヨリ一石橋際マデ
文政二年(二四七九年)八月五日	西北烈風	外櫻田龜井邸
文政二年(二四七九年)十二月廿五日	西北烈風	下谷佐竹邸ヨリ淺草マデ
文政三年(二四八〇年)正月十四日	西北風	麴町
文政三年(二四八〇年)正月十九日	西北風	下谷車坂
文政三年(二四八〇年)十二月七日	(北風?)	和田倉會津藩邸
文政三年(二四八〇年)十二月廿九日	(北風?)	本石町ヨリ本町マデ
文政四年(二四八一年)正月十七日	西北烈風	(一)小川町
文政四年(二四八一年)正月十八日	後東南風	(二)芝柴井町
文政四年(二四八一年)正月十九日	西南烈風	芝新網町ヨリ海邊マテ
文政四年(二四八一年)三月廿八日	北風後西南風	小石川鷹匠町
文政四年(二四八一年)十一月廿二日	西南風	花川戸
文政四年(二四八一年)十二月十八日	(西南風?)	湯島三組町
文政五年(二四八二年)二月廿六日	東北風	瀬戸物町室町
文政五年(二四八二年)二月廿七日	東北風	吳服橋松本藩邸
		芝神明町、宇田川町、三島町

文政五年(二四八二年)五月四日	西北風烈	木挽町
文政五年(二四八二年)七月十三日	北風烈	田安邸
文政六年(二四八三年)正月十二日	西北風烈	麻布古川ヨリ品川マデ
文政六年(二四八三年)十二月廿五日	西北風烈	麴町三丁目ヨリ赤坂ニ至ル
文政七年(二四八四年)正月五日	(西南風?)	芝神明社
文政七年(二四八四年)二月朔日	西北風烈	(一)三河町一丁目ヨリ江戸橋際ニ至ル
文政七年(二四八四年)四月三日	西北風烈	(二)音羽八丁目ヨリ改代町邊ニ至ル
文政七年(二四八四年)十二月朔日	西北風烈	新吉原
文政七年(二四八四年)十二月五日	西北風強	麻布斧橋ヨリ三光坂下マテ
文政八年(二四八五年)三月七日	(西南風?)	二葉町ヨリ濱手マデ
文政八年(二四八五年)十月晦日	(西南風?)	小傳馬町ヨリ鹽町マデ
文政八年(二四八五年)十二月九日	(西南風?)	飯田町中坂
文政八年(二四八五年)十二月十九日	(西北風?)	本郷金澤藩邸ヨリ池ノ端ニ至ル
文政九年(二四八六年)正月四日	大南風	葺屋町ヨリ人形町邊マデ
文政九年(二四八六年)二月十八日	南風	水道橋外牧野邸
文政九年(二四八六年)七月九日	西北風?	極樂水ヨリ巢鴨染井ニ至ル
文政十年(二四八七年)正月四日	西北風烈	神田松枝町附近
文政十年(二四八七年)正月廿五日	北風	葺屋町及附近
文政十年(二四八七年)三月十二日	西北風烈	四谷大木戸ヨリ右京町邊マデ
文政十年(二四八七年)十一月廿五日	北風	四谷鹽町傳馬町竹町等
文政十年(二四八七年)十一月廿六日	西大風	小石川水戸邸
文政十一年(二四八八年)正月六日	北大風	下谷山崎町
		小石川富坂上ヨリ上餌差町マデ
		神田豐島町ヨリ岩井町マデ

帝都時代ノ火災

文政十一年(二四八八年)正月八九日
 文政十一年(二四八八年)二月五日
 文政十一年(二四八八年)二月廿五日
 文政十一年(二四八八年)二月廿二日
 文政十二年(二四八九年)二月十六日
 文政十二年(二四八九年)三月廿一日
 文政十二年(二四八九年)四月六日
 天保元年(二四九〇年)正月十一日
 天保元年(二四九〇年)七月廿一日
 天保元年(二四九〇年)十一月廿三日
 天保元年(二四九〇年)十一月晦日
 天保元年(二四九〇年)十二月八日
 天保元年(二四九〇年)十二月廿三日
 天保二年(二四九一年)十一月廿三日
 天保三年(二四九二年)正月二日
 天保三年(二四九二年)十月朔日
 天保三年(二四九二年)十一月十九日
 天保五年(二四九四年)二月七日
 天保五年(二四九四年)二月九日
 天保五年(二四九四年)二月十日
 天保五年(二四九四年)二月十一日
 天保五年(二四九四年)二月十三日
 天保五年(二四九四年)十二月十九日

西烈風
 南大風
 後北風
 西南暴風
 西北風烈
 南風烈
 西北風烈
 (南風?)
 西南風烈
 西北大風
 西北風烈
 南風
 西北風烈
 北風
 淺草寺中花川戸
 (一)幡隨院裏門ヨリ鳥越マデ
 (二)神田多町邊ヨリ本町マデ
 増上寺
 小石川水戸邸
 目白臺ヨリ田端、中里ニ達ス
 神田佐久間町ヨリ佃島、築地、新橋ニ至ル
 麻布永坂ヨリ市兵衛町谷町ニ至ル
 青山五十人町、百人町邊
 本郷二丁目、三丁目邊
 本所菊川町ヨリ砂村マデ
 橋町三丁目ヨリ横山同朋町邊
 下谷坂本町山崎町
 小傳馬上町ヨリ鵜殿町邊マデ
 寛永寺本坊其他
 五郎兵衛町ヨリ白魚屋敷邊
 西丸下濱松藩邸
 麴町
 神田佐久間町ヨリ佃島ニ達ス
 檜物町ヨリ一石橋マデ
 大名小路ヨリ築地、芝口ニ及ブ
 小石川水戸邸
 駒込
 淺草西仲町

天保六年(二四九五年)正月十一日
 天保六年(二四九五年)正月廿六日
 天保六年(二四九五年)二月六日
 天保六年(二四九五年)三月廿四日
 天保七年(二四九六年)二月廿三日
 天保七年(二四九六年)三月十六日
 天保七年(二四九六年)十月廿二日
 天保八年(二四九七年)九月十六日
 天保八年(二四九七年)十月十九日
 天保九年(二四九八年)三月十日
 天保九年(二四九八年)四月十七日
 天保九年(二四九八年)閏四月四日
 天保九年(二四九八年)十月十三日
 天保九年(二四九八年)十一月九日
 天保十年(二四九九年)三月二日
 天保十年(二四九九年)十一月廿七日
 天保十年(二四九九年)十二月朔日
 天保十一年(二五〇〇年)正月二日
 天保十一年(二五〇〇年)正月五日
 天保十一年(二五〇〇年)正月六日
 天保十一年(二五〇〇年)正月九日
 天保十二年(二五〇一年)六月十八日
 天保十二年(二五〇一年)十月七日

(北風?)
 神田蠟燭町ヨリ鎌倉河岸マデ
 新吉原
 谷中茶屋町
 赤坂紀伊邸
 牛込神樂坂
 數寄屋町二丁目ヨリ新橋マデ
 淺草寺經堂
 常盤橋内福井藩邸
 新吉原
 江戸城西丸
 小田原町ヨリ内神田マデ
 麴町九丁目ヨリ貝坂下邊ニ至ル
 麴町三丁目ヨリ貝坂邊マデ
 水谷町ヨリ佃島マデ
 (一)小石川若荷谷ヨリ富士前マデ
 (二)北本所表町ヨリ寺島新田マデ
 吳服橋内
 新宿泰宗寺門前ヨリ青山マデ
 小石川水戸邸
 根岸ヨリ金杉辻マデ
 四谷鞆町附近
 青山
 下谷幡隨院
 堺町附近

帝都時代ノ火災

天保十二年(二五〇一年)十一月晦日	寬永寺大佛殿	大
天保十三年(二五〇二年)三月七日	牛込通寺町ヨリ染井中里マデ	大
天保十三年(二五〇二年)三月廿二日	高輪ヨリ品川ニ及ブ	大
天保十四年(二五〇三年)正月廿七日	常盤橋内福井藩邸	大
天保十四年(二五〇三年)三月廿六日	虎門外	大
天保十四年(二五〇三年)閏九月廿一日	福井町一丁目ヨリ	大
天保十四年(二五〇三年)十二月廿七日	鍛冶橋内ヨリ京橋一帯	大
弘化元年(二五〇四年)正月十三日	中里矢來下ヨリ榎町邊マデ	大
弘化元年(二五〇四年)正月十六日	本郷元町	大
弘化元年(二五〇四年)四月六日	小石川餌差町ヨリ本郷追分マデ	大
弘化元年(二五〇四年)五月十日	江戸城本丸	大
弘化元年(二五〇四年)七月九日	小田原町二丁目ヨリ室町邊マデ	大
弘化元年(二五〇四年)七月廿四日	田所町ヨリ富澤町河岸マデ	大
弘化二年(二五〇五年)正月廿四日	青山ヨリ高輪ニ至ル	大
弘化二年(二五〇五年)三月廿七日	神田富松町ヨリ長谷川町高砂町邊マデ	大
弘化二年(二五〇五年)十二月五日	新吉原	大
弘化二年(二五〇五年)十二月十一日	坂本町ヨリ茅場町	大
弘化二年(二五〇五年)十二月十二日	表二番町ヨリ麴町三丁目マデ	大
弘化三年(二五〇六年)正月十五日	小石川片町ヨリ鐵砲洲、佃島ニ達ス	大
弘化三年(二五〇六年)三月廿七日	富松町ヨリ長谷川町邊マデ	大
弘化三年(二五〇六年)十一月廿二日	三味線堀	大
弘化三年(二五〇六年)十一月廿八日	神田相生町	大
弘化三年(二五〇六年)十一月廿九日	神田佐久間町	大

弘化四年(二五〇七年)正月廿八日	桶町	大
弘化四年(二五〇七年)四月廿四日	芝田町	大
弘化四年(二五〇七年)五月十五日	横山町ヨリ馬喰町邊	大
弘化四年(二五〇七年)十一月廿日	霞ヶ關廣島藩邸	大
嘉永元年(二五〇八年)二月廿二日	西丸下	大
嘉永元年(二五〇八年)二月廿三日	大名小路	大
嘉永元年(二五〇八年)十月廿三日	淺草溜	大
嘉永二年(二五〇九年)正月十六日	麻布相模殿橋邊	大
嘉永二年(二五〇九年)正月廿二日	芝神明ヨリ濱松町マデ	大
嘉永二年(二五〇九年)正月廿四日	八官町ヨリ芝口マデ	大
嘉永二年(二五〇九年)八月廿五日	(一)神田松枝町ヨリ小網町一丁目、横山町マデ	大
嘉永二年(二五〇九年)十一月七日	(二)西新川通	大
嘉永二年(二五〇九年)十一月廿三日	下谷大門町ヨリ長者町マデ	大
嘉永二年(二五〇九年)十二月九日	富澤町ヨリ人形町ニ至ル	大
嘉永三年(二五〇一年)二月五日	麴町五丁目ヨリ金杉濱町ニ至ル	大
嘉永三年(二五〇一年)二月廿二日	森元町ヨリ飯倉邊	大
嘉永三年(二五〇一年)五月八日	本材木町ヨリ新右衛門町邊ニ達ス	大
嘉永三年(二五〇一年)十一月廿九日	本船町ヨリ室町二丁目マデ	大
嘉永三年(二五〇一年)十二月四日	千住ヨリ箕輪金杉ニ達ス	大
嘉永四年(二五〇二年)正月四日	新看町ヨリ三十間堀マデ	大
嘉永四年(二五〇二年)正月四日	四谷闇坂上	大
嘉永四年(二五〇二年)九月十七日	淺草長泉寺ヨリ西福寺手前マデ	大
嘉永四年(二五〇二年)十二月六日	神田橋内福井藩邸	大

帝都時代ノ火災

嘉永四年(二五一年)十二月六日
 嘉永四年(二五一年)十二月十四日
 嘉永四年(二五一年)十二月廿四日
 嘉永五年(二五二年)正月四日
 嘉永五年(二五二年)正月六日
 嘉永五年(二五二年)五月廿二日
 嘉永五年(二五二年)十一月廿八日
 嘉永五年(二五二年)十一月晦日
 嘉永六年(二五三年)三月七日
 嘉永六年(二五三年)十一月廿五日
 嘉永六年(二五三年)十二月十五日
 安政元年(二五四年)二月廿日
 安政元年(二五四年)六月十一日
 安政元年(二五四年)七月七日
 安政元年(二五四年)十一月五日
 安政元年(二五四年)十二月廿日
 安政元年(二五四年)十二月廿八日
 安政二年(二五五年)正月廿九日
 安政二年(二五五年)二月廿五日
 安政二年(二五五年)三月二日
 安政二年(二五五年)三月二日
 安政三年(二五六年)正月二日
 安政三年(二五六年)二月十五日
 安政三年(二五六年)二月十五日

西北風 南風 西南風 西北風 東北風 西北風 西南風 東南風 南風 西北風

淺草藏前
 小傳馬町二丁目ヨリ田所町マデ
 大名小路
 米澤町三丁目ヨリ淺草門際マデ
 麴町山元町及附近
 江戸城西丸
 富士見寶藏
 大名小路
 市谷田町
 下谷仲町數寄屋町
 音羽町三丁目ヨリ牛込築地邊マデ
 南傳馬町ヨリ水谷町邊
 淀橋町
 本材木町河岸
 淺草聖天町ヨリ小梅マデ
 深川雲光院
 神田多町ヨリ日本橋際ニ至ル
 南本所
 北紺屋町附近
 小網町ヨリ淺草藏前マデ
 地震火事各所
 櫻田上杉邸
 下谷廣徳寺前ヨリ三味線堀マデ

(城) 大 大 大

安政三年(二五六年)三月廿七日
 安政三年(二五六年)八月廿五日
 安政三年(二五六年)十一月八日
 安政四年(二五七年)二月廿一日
 安政四年(二五七年)四月十八日
 安政四年(二五七年)八月四日
 安政四年(二五七年)十月十二日
 安政五年(二五八年)正月九日
 安政五年(二五八年)二月十日
 安政五年(二五八年)二月十五日
 安政五年(二五八年)十一月十二日
 安政五年(二五八年)十一月十五日
 安政五年(二五八年)十一月十五日
 安政六年(二五九年)正月十一日
 安政六年(二五九年)二月廿二日
 安政六年(二五九年)三月十五日
 安政六年(二五九年)三月十五日
 安政六年(二五九年)八月十五日
 安政六年(二五九年)十月十七日
 安政六年(二五九年)十月三日
 萬延元年(二五〇年)正月廿三日
 萬延元年(二五〇年)正月廿七日
 萬延元年(二五〇年)二月十九日
 萬延元年(二五〇年)八月廿七日
 萬延元年(二五〇年)九月廿九日

南大風 南風雨 南風 西北風 西北風 北風 西北風 西北風 西北風 西北風 西北風 西北風 西北風 西北風 西北風 西北風 西北風 南風 南風

宇田川町ヨリ柴井町マデ
 増上寺片門前其他
 通三丁目及其附近
 赤坂黒田邸
 牛込正藏院門前附近
 淺草西福寺
 駒込淺嘉町及其南方
 猿岩町ヨリ聖天町附近
 安針町ヨリ佃島マデ
 小日向武島町ヨリ諏訪町邊
 赤坂三分坂ヨリ新堀端マデ
 神田相生町北ヨリ京橋ノ一部ニ及ブ
 小石川祥雲寺ヨリ柳町マデ
 青山ヨリ音羽マデ
 神田仲町附近
 淺草馬道
 江戸城本丸
 龍土宇和島邸
 靈巖橋附近
 増上寺中
 日比谷毛利邸
 猿若町附近
 新吉原

大 大 大 (城)

帝都時代ノ火災

萬延元年(二五二〇年)十二月十三日	(西北風?)	八丁堀ヨリ築地本湊町マデ
文久元年(二五二一年)四月三日	南大風	四谷門外敷箇町
文久二年(二五二二年)正月晦日	南風	芝新馬場薩藩邸
文久二年(二五二二年)二月朔日	北東風	小石川小十人町ヨリ谷中西ヶ原マデ
文久二年(二五二二年)二月七日	南風	大名小路備藩邸其他
文久二年(二五二二年)二月十一日	西北風	芝中門前ヨリ金杉町邊マデ
文久二年(二五二二年)二月十九日	南風	下谷町及附近
文久二年(二五二二年)二月十四日	西北風	江戸橋際ヨリ南八丁堀ニ及ブ
文久二年(二五二二年)二月十五日	北風烈	新吉原
文久二年(二五二二年)三月十六日	南西風	赤坂新町及附近
文久三年(二五二三年)三月十六日	南西風	青山百人町附近
文久三年(二五二三年)四月七日	南風	湯島大根畑ヨリ池ノ端茅町、仲町
文久三年(二五二三年)六月三日	南大風	麻布善福寺
文久三年(二五二三年)九月五日	西風	芝永井町代地ヨリ虎門外ニ至リ、西九ヶ焼ク
文久三年(二五二三年)十月三日	北風	馬喰町ヨリ若松町邊マデ
文久三年(二五二三年)十一月十五日	北風	赤坂紀伊國坂邊
文久三年(二五二三年)十一月十九日	南大風	西久保天徳寺
文久三年(二五二三年)十一月廿三日	南大風	本丸及二丸
元治元年(二五二四年)正月三日	東風	駿河町附近
元治元年(二五二四年)正月九日	東風	青山玉窓寺ヨリ今井谷マデ
元治元年(二五二四年)正月廿六日	東風	深川永代寺門前西町ヨリ蛤町河岸マデ
元治元年(二五二四年)二月三日	北大風	新吉原
		本銀町ヨリ北鞘町マデ

(城)

(城)

元治元年(二五二四年)二月十日	西北風	築地
元治元年(二五二四年)三月十四日	南西風	瀬戸物町ヨリ郡代屋敷マデ
元治元年(二五二四年)四月廿三日		猿若町附近
元治元年(二五二四年)八月七日		芝三島町附近
慶應元年(二五二五年)五月廿二日	北風	霞ヶ關
慶應元年(二五二五年)閏五月十八日	北風	田安邸
慶應元年(二五二五年)十一月廿二日	西北風	小日向
慶應二年(二五二六年)正月朔日	西風	田原町ヨリ黒船町、本所
慶應二年(二五二六年)正月十日	西風	四谷傳馬町
慶應二年(二五二六年)四月十日	北風	霞ヶ關淺野邸
慶應二年(二五二六年)四月十日	北風	濱松町
慶應二年(二五二六年)七月廿九日	北風	筋違橋門内
慶應二年(二五二六年)十一月四日	西北風	橋本町
慶應二年(二五二六年)十一月十日	西北風	深川熊井町ヨリ富岡八幡附近
慶應二年(二五二六年)十一月十六日	西北風	元乗物町ヨリ京橋、八丁堀ニ至ル
慶應二年(二五二六年)十二月十七日	西北風	新吉原
慶應二年(二五二六年)十二月廿九日	西北風	上野東照社内
慶應三年(二五二七年)正月七日	西北風	(一)春木町附近、飛火駿河臺
慶應三年(二五二七年)二月十五日	西北風	(二)白山前附近
慶應三年(二五二七年)三月廿三日	南大風	橋場總泉寺ヨリ小梅
慶應三年(二五二七年)九月十七日	南大風	麻布坂下町
慶應三年(二五二七年)九月十七日	南大風	淺草茅町ヨリ天王橋邊
慶應三年(二五二七年)十二月廿三日	南大風	葵坂下鍋島邸
		江戸城二丸

帝都時代ノ火災

(城)

大

大

